

Rotary  
District 2830



国際ロータリー第 2830 地区  
2024-25 年度

# 記 録 誌

〈2024-25 年度 RI 会長テーマ〉



〈2024-25 年度 地区スローガン〉



## DTTS

### 地区チーム研修セミナー

と き 2024 年 2 月 17 日 (土)

ところ 五所川原商工会館  
ホテルサンルート五所川原

## PETS

### 会長エレクト研修セミナー

と き 2024 年 3 月 23 日 (土)  
24 日 (日)

ところ ホテルサンルート五所川原  
五所川原商工会館

## DTA

### 地区研修・協議会

と き 2024 年 5 月 18 日 (土)

ところ 五所川原市ふるさと交流  
圏民センター オルテンシア  
プラザリュウ五所川原



Rotary  
District 2830



# DTTS

地区チーム研修セミナー報告

と き 2024年2月17日(土)

ところ 五所川原商工会館  
ホテルサンルート五所川原



2024年2月17日(土)

本会議・分科会		会場・五所川原商工会館	
12:30	登録受付		
	全体会議	進行 次期地区幹事長	木村 重介
13:00	開会、点鐘・招集挨拶	ガバナーエレクト	花田 勝彦
	国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
	ガバナー挨拶	ガバナー	築館 智大
	趣旨説明	次期地区ラーニングファシリテーター	山崎 淳一
13:20	国際協議会報告	ガバナーエレクト	花田 勝彦
13:50	休憩		
14:00	基調講演 「国際ロータリーの流れと現況」	国際ロータリー理事エレクト ロータリー平和センター・ ホストエリアコーディネーター	水野 功
15:00	休憩		
15:10	地区運営方針発表	ガバナーエレクト	花田 勝彦
	委員会活動予算の説明	次期地区財務委員長	木村 康仁
	地区行事予定	次期地区副幹事長	今 広樹
	地区ホームページについて	地区ホームページ担当	近藤 陽介
16:05	休憩		
16:15	ガバナーノミニデジグネートの紹介	ガバナー	築館 智大
16:20	地区役員の紹介と挨拶	進行 次期地区副幹事長	平山 敦士
16:40	地区事務所スタッフの紹介	ガバナーエレクト	花田 勝彦
16:50	移動		
17:00	分科会 ～顔合わせと今後の活動についての打ち合せ～		

部門別/委員会名	役 職	氏 名	クラブ名
ガバナー補佐研修	ガバナーエレクト	花田 勝彦	五所川原
会員増強部門			
クラブ拡大・増強委員長	次期地区委員長	吉田 賢治	八戸南
公共イメージ向上部門			
公共イメージ向上委員会	次期地区委員長	工藤 孝子	弘前東
社会奉仕・職業奉仕部門			
社会奉仕・職業奉仕委員会	次期地区委員長	岩岡 隆雄	八戸東
ロータリー財団部門			
ロータリー財団委員会	次期地区委員長	佐藤 健一	青森
・地区補助金委員会	次期地区委員長	西尾 和樹	八戸南
・グローバル補助金委員会	次期地区委員長	須藤 朗	野辺地
・資金推進委員会	次期地区委員長	櫛引 大樹	青森
・平和フェロシップ・奨学金・学友委員会	次期地区委員長	竹島 直樹	十和田東
・ポリオプラス委員会	次期地区委員長	成田 俊介	弘前西

部門別/委員会名	役 職	氏 名	クラブ名
<b>国際奉仕・青少年奉仕部門</b>			
国際奉仕委員会	次期地区委員長	柴田 文彦	むつ中央
青少年交換委員会	次期地区委員長	岡山 信広	六ヶ所
ローターアクト委員会	次期地区委員長	竹内 知弘	弘前西
インターアクト委員会	次期地区委員長	松山 隆志	野辺地
RYLA委員会	次期地区委員長	三浦 基	青森
<b>米山記念奨学部門</b>			
米山記念奨学委員会	次期地区委員長	佐藤 一尚	青森
<b>DEI部門</b>			
DEI推進委員会	次期地区委員長	源新 育子	八戸北
RLI委員会	次期地区委員長	三浦 真介	弘前
水野功国際ロータリー理事エレクトを囲む会	次期地区LF	山崎 淳一	五所川原

17:30	移動		
17:40	全体会議		
	講評	地区ラーニングファシリテーター	源新 和彦
	閉会点鐘・挨拶	ガバナーエレクト	花田 勝彦

懇親会		会場・ホテルサンルート五所川原	
		進行 次期地区幹事	清野 悟
18:00	挨拶	ガバナーエレクト	花田 勝彦
	乾杯	ガバナー	築館 智大
19:30	中締め	副ガバナー	田中 常浩
	手に手つないで		

## 招集挨拶

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC



2024-25年度の地区チーム研修セミナー(DTTS)にRI理事エレクトの水野功様、パートナーの利津子様をお迎えして、次年度地区チームの皆様のご参加をいただき、スタートを切ることができることをまずは感謝申し上げます。

2024年は元旦早々能登で震度7の大地震がございました。1月2日には羽田空港での旅客機衝突事故と、大変な出来事が続いたお正月でございました。

仕事始めもそこそこに、1月7日から11日までアメリカフロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加し、多くのことを学んでまいりました。

配布資料では、無事帰国の途につくことができたと書きましたが、実は3日目の夕方にハリケーンがきて携帯の緊急速報が鳴ったり、帰りの国内線では搭乗した青森行きの飛行機に落雷して羽田に引き返し、羽田でさらに一泊して帰ってくるというハプニングがございました。

改めまして、去る11月25日の壮行会には、多くの皆様からの激励をいただき、ありがとうございます。本当に皆様の支えが頼もしい力になりました。

さて、このDTTSは、次年度の地区チームが就任に備えて、クラブ支援チームとしての意欲を高める機会です。

後ほどご紹介いたしますが、ステファニー・A・アーチックRI会長エレクトのテーマ講演を始めとして、本会議や分科会のセッション、世界中のガバナーエレクトやリーダー達との出会いを通じて、国際協議会で学んだ多くのことを地区チームにお伝えし、次年度の方針と熱意を共有したいと考えています。

私は、この国際協議会で、志を同じくする多くの友人と出会い、同じ時間を過ごしたことによって、ロータリーが大好きになって帰ってまいりました。次年度のガバナーに就任するための燃えるようなエネルギーをいただけてきたと感じています。

皆様ご承知のとおり、次年度のRIテーマは「ロータリーのマジック」です。このマジックを生み出すのは、私たち一人一人のロータリアンの思いやりと信念に基づく行動だと思います。

ガバナー補佐、地区委員長、地区委員、地区幹事、そしてパストガバナーの皆様によって築き上げられる私たちの地区チームは、きっと“Irresistibles”(イリジスティブル)、魅力あふれるチームになると確信しています。

これも後ほど詳しくお話いたしますが、次年度の地区スローガンは「個性輝くロータリー」です。

2830地区は小さな地区ですが、一人一人のロータリアンは輝く個性を持っていると思います。素晴らしい体験を発信して魅力的なクラブ作りをすることが大切です。地区チームは、個性輝く魅力的なクラブを作るための支援をしていきます。それがひいては多くの仲間を増やすことに繋がっていくと確信しています。

今、次年度の準備のスタートを切りました。まずは自分が準備をして、チームでアイデアを広げたいと思います。個性輝く皆さんの熱意を行動に繋げていきましょう。

そして年度が終わるときには、次のチームに魅力を繋げられるように、一緒に頑張っていきたいと思っています。

今日は一日、よろしく願いいたします。

## ガバナー挨拶

ガバナー

**築館 智大**

八戸RC



私の席が2番目になっているので、次年度が始まる、花田年度が今日からスタートということになります。そこで、皆さんにお願いがあります。

花田さんはこれから色々な方針を発表されると思いますが、皆さんが、花田さんと同じような方向を向いていただきたい。ベクトルを重ねる。それをして、今日、種子島からH3ロケットが発射して成功しました。

是非、花田年度も、ロケットスタートを決めて、元気のある2830地区にしていきたいと思います。7月からとは言わず、明日からでも良いので、今年度の委員長からきちんと引き継ぎを受けてください。

とは言え、私もまだ3分の1残っておりますので、現年度の方々もまだいらっしゃると思いますから、まだまだ私も頑張りますが、花田年度はH3ロケットのように、ロケットスタートを是非お願いいたします。

今日一日よろしくお願いいたします。

## 趣旨説明

次期地区ラーニング  
ファシリテーター

**山崎 淳一**

五所川原RC



### 1. 主要行事の周知と参加の要請

資料22～24ページに記載の主要行事の日程に基づき、皆様にスケジュールの確保をお願いします。特に、地区のリーダーシップを取っていただく方々には、このスケジュールへの参加を強く要請します。

### 2. 地区クラブ活性化ワークショップについて

24ページに記載の「地区クラブ活性化ワークショップ」は、日時・場所は決定済みですが、内容は次年度の状況を見て検討します。おそらく、地区の最重要課題である会員増強を中心とした内容になる見込みです。

### 3. 本日のDTTSの目的と構成

本日のDTTS(地区チーム研修セミナー)は、次期地区リーダーが次年度に備え、初めて顔を合わせる場となります。

プログラムの主な構成：

- \* 花田ガバナーエレクトによる報告：国際協議会の報告、およびRI会長テーマの発表。

○(米谷年度で会長テーマがなくなったため、これが最後のRI会長テーマの発表となる見込みです。)

\* 地区運営方針の発表(水野様基調講演の後)

\* 水野 功RI理事エレクトによる基調講演：

○日本のリーダーである水野理事エレクトがこの地区に来ていただける大変貴重な機会であり、皆様に今一番のニュースとなる情報を提供いただけると期待されます。

### 4. 部門別ミーティングと懇親会の意図

この後の部門別ミーティング(30分間)では、具体的な作業に入るのではなく、まずは初顔合わせとして、地区運営方針やRIの流れを確認した上で、これからしっかり協力していくためのコミュニケーションの時間としてください。

懇親会も、パストガバナーを含め、部門別のテーブルを設けており、次年度に向けての良いスタートを切るための「仕掛け」としますので、ご理解をお願いいたします。

良いスタートを切って、これから一年間取り組んでいきましょう。

## 国際協議会報告

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC



花田ガバナーエレクトより、2024年1月7日から11日にかけてフロリダ州オーランドで開催された国際協議会(International Assembly)の報告がありま

した。

### 1. 概要と交流

- \* 国際協議会は、次期ガバナーエレクト(GE)が集まり、次年度のRI会長テーマや運営方針について学ぶ場です。
- \* 歓迎レセプションや朝食会場、友愛の家(House of Friendship)など、多様な場面で世界各国のGEやRIのリーダーたちと交流し、ロータリーの団結力を強く感じました。
- \* 文化交流会では、水野功RI理事エレクトご夫妻や日本のリーダーと共に日本のブースで参加者を迎えました。

#### 国際協議会プログラム



1月7日 9:00-18:00	開会
18:00-19:30	歓迎レセプション
19:00-21:00	開会
9:00-10:00	開会本会議
10:00-12:00	分科会・パートナー円卓討論
12:15-14:00	朝食会場・歓迎会
14:15-15:15	第2回本会議
15:45-17:15	分科会・パートナー円卓討論
17:00	分科会
1月9日 7:00	開会
8:00-10:00	第3回本会議
10:30-12:00	パートナーシップ・パートナー会合
12:00-14:00	開会
14:15-15:15	第4回本会議
15:45-17:15	分科会・パートナー会合
18:30-20:30	開会・歓迎会
1月10日 7:00	開会
8:00-10:00	第5回本会議
10:30-12:00	分科会
12:00-14:00	開会
14:15-15:15	第6回本会議
15:45-17:15	分科会
17:30-21:00	文化交流の宴、文化のター
19:00-21:00	世界の魔法セッション＆ディナー
1月11日 7:00	開会
8:00-10:00	第7回本会議
10:30-12:00	分科会・パートナー円卓討論
12:00-14:00	開会
14:15-15:30	分科会
16:00-17:15	分科会
18:30-20:00	閉会セッションと懇親会

### 2. 主要なテーマと本会議

#### 本会議・分科会の内容

日時	分科会	本会議	本会議に併せて	Our Year Ahead
10:00-12:00	分科会	国際協議会報告会		Advancing Our Action Plan
14:15-15:15	パートナーの円卓討論	開会を共に(挨拶/発表)		Sharing the Journey of Beginner/Advanced
15:45-17:15	第2回本会議	魔法つぼ、インスピレーションを伝え、参加者です		Abract, Lingua, Incantare
15:45-17:15	分科会	クラブでの体験		The Club Experience
19:00-10:00	パートナーの円卓討論	主題別テーブル		Table Topics
8:00-10:00	第3回本会議	ストーリーを伝える		Sharing Our Stories
10:30-12:00	パートナー会合	ロータリーへの感謝を共有する		Sharing the Value of Rotary
14:15-15:15	分科会	みんなのストーリーをロータリー		Our Stories and Rotary
15:45-17:15	分科会	みんなが健康意識を持つ		A Place for Everyone
19:00-10:00	ロータリー分科会	ロータリーを愛する		Rotary Year-Wide
8:00-10:00	第5回本会議	私たちの思いやり		The Power of Our Foundation
10:30-12:00	分科会	世界でよいことをしよう		Doing Good in the World
14:15-15:15	パートナーの円卓討論	私たちの想い(挨拶/発表)		Our Foundation (Beginner/Advanced)
15:45-17:15	分科会	分断された世界を癒やす		Healing a Divided World
19:00-10:00	第7回本会議	奉仕のインパクト		The Impact of Our Service
10:30-12:00	分科会	持続可能な未来を築く		Creating Lasting Change
14:15-15:30	分科会	COVID-19からの地域支援		Regional Support from COVID
15:45-17:15	分科会	協議会ですることを実現する		From Assembly to Action
18:30-20:00	閉会セッション	リーダーシップにおける継続		Continuity in Leadership

#### 本会議開始前の写真撮影と国際交流

第2483地区セルビアからきた Vlado Mijailovic氏に大歓迎と、2か月前に日本の観光と京都に行ったばかりだと話していました。



国際協議会は丸4日間にわたり本会議と分科会が行われ、次年度の運営に関わる重要なテーマが数多く議論されました。

### ステファニー・A・アーチック RI会長エレクトのメッセージ



私たちの年度のテーマは、「The Magic of Rotary」(ロータリーのマジック)です。

- \* アーチック次期会長エレクトは、開会本会議でテーマを正式発表しました。
- \* 講演の要点は、配布資料にまとめておりますが、ポリオ根絶、行動計画、会員増強、平和推進、DEIといった包括的な内容でした。
- \* 「ロータリーのマジック」というテーマについて、特別な魔法ではなく、ロータリーを通じて生まれる「変化」と「知性・信頼」がその本質であると説明されました。テーマカラーはオレンジ(変化)とブルー(知性・信頼)です。
- \* 「四つのテスト」を平和構築の手段として位置づけ、内面の平和から他者への思いやりを導く「積極的な平和」の重要性を強調しました。

### 行動計画(アクションプラン)の推進

- \* 「行動計画を前進させる」が重要なテーマとなり、クラブでの奉仕を重視し、クラブ体験を魅力的(Irresistible)にすることが求められています。
- \* 「クラブでの体験」の分科会では、魅力的なクラブづくりが根本にあるとされました。

### DEIと帰属意識(Belonging)

- \* 「DEI + Belonging」がテーマの一つとなり、DEIに帰属意識を付け加えることで、さらに一

#### 第3回本会議 ストーリーを伝える

出村知佳子 第2510地区GE

ロータリアンだった父が遺したノートに書かれていた、お天道様は見ている、共存共栄というメッセージをDEIが重要とされる今の時代にどのように受け継いでいくのが自分の課題






本会議場にて

歩進んだ考え方が示されました。

- \*横文字に抵抗がある会員向けに、DEIを「D：誰もが」「E：笑顔で」「I：居心地のいいクラブ」と説明する、分かりやすい表現が紹介されました。これは、ロータリー創設期からの寛容の精神や思いやりに通じるものです。

### ロータリーの価値とリーダーシップ

- \*ワークショップでは「ロータリーの価値を共有する」として、参加者それぞれがロータリーの価値を定義し、それを他者に伝える文章を作成しました。
- \*RI事務局次長であるジョン・ヒューコ氏からは、新しいクラブ設立のために「少しルールを破ることも必要」という、一歩踏み込んだ発言がありました。
- \*第3回本会議では、水野 功 RI理事エレクト(当時)が、ゴードン・マッキナリー現会長ご夫妻から紹介されました。



分科会 世界でよいことをしよう

### 最終セッション

- \*閉会本会議では、アーチック次期会長エレクトが、国際協議会での経験を踏まえ、次年度に向けてそれぞれの地区で取り組むことを宣言し、点鐘で閉会となりました。



分科会 次年度に向けて

## 基調講演

### 「国際ロータリーの流れと現況」



2023-24年度RI理事エレクト

水野 功

東京飛火野RC

水野RI理事エレクトは、ご自身のロータリー経験と、国際ロータリー(RI)の歴史の変遷、現在の課題、および次年度の会長テーマについて報告しました。

#### 1. ロータリーとの出会いと信念

水野RI理事エレクトは、1989年に東京飛日野RCの創立メンバーとして入会し、当時のRI会長テーマ「Enjoy Rotary」をモットーとして35年間活動を続けています。「参加し、行動することで、ロータリーは真に楽しくなる」と強調しました。また、入会時に受けた「例会100%出席」と「来た役職は断るな」という助言が、今の自分を築いた重要な要素だと述べています。

最近、若年層が早期に退会する背景には、入会前の研修不足があると指摘しました。入会前の十分な教育と、入会後の新会員オリエンテーションなどを通じた「ビロンギング(帰属意識)」の醸成が、会員継続のためには不可欠です。

## 2. 規定審議会とロータリーの変化

RIでは、ロータリーをより現代に適応させるための変化が起こってきました。

- \* 2004年にはCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)が導入されましたが、期待された成果は限定的でした。
- \* 2005年以降、青少年交換プログラム継続のために地区の法人化や保険加入が必須となり、日本はRIJYEMを設立することで対応しています。
- \* 2014年には標語が変わり、「Join Leaders, Exchange Ideas, Take Action」という標語が、現在の「行動人」という考え方に繋がりました。
- \* 2016年の規定審議会では、例会の柔軟性や会員の多様性導入が議論されましたが、日本のクラブでは柔軟な例会を採用した例はほとんどありませんでした。
- \* 2019年には、ローターアクトクラブがロータリークラブと同じ資格を持つことになりました。

## 3. 日本の現状と解決すべき課題

日本のロータリーは、国際的に見て以下のような課題を抱えています。

- \* **会員統計の課題**：日本の女性会員比率は8.11%で、世界平均の3分の1以下にとどまっています。このため、若年層と女性会員の増強が最重要課題です。ローターアクトについても、クラブあたりの人数が世界平均より少ないという問題があります。
- \* **固定化された慣習**：日本のクラブは例会の時間や食事の形式が固定化されており、この再検討が必要です。また、「単年度制の弊害」を克服し、継続的な活動を可能にする必要があります。

特に2830地区に対しては、2026年7月1日までに会員数が1,100名に達しない場合、2028年7月1日付で隣接地区との合併がRI理事会で既に決定していると伝えました。この決定は変えられないため、地区全体で目標を上回る成長戦略を立てて、実績を示すことが求められています。

## 4. 2024-25年度 RI会長テーマと行動計画

次年度のステファニー・アーチック RI会長エレクトは、「ロータリーのマジック (The Magic of Rotary)」をテーマに掲げました。

- \* **キーワード**：「Simply Irresistible(まったく抵抗できない魅力、抗えない魅力)」を持つクラブになることを強く要求しています。
- \* **行動計画の推進**：会長は行動計画委員長を務めた経験から、これを最重要項目としています。特に、「3-Year Rolling Target(3年間のローリング目標)」の導入を強く推進しており、クラブセントラルへの入力(会員数、寄附、公共イメージなど)を100%達成することを各クラブに求めています。
- \* **平和の構築**：「四つのテスト」を唱和するだけでなく、クラブや自身の組織内で実践することが、平和構築への最も効果的な方法であるとメッセージを送りました。

クラブを活性化するためには、会長のリーダーシップのもと、会員全員が居心地の良さを感じられるよう配慮し、積極的に活動に参加するよう奨励することが、何よりも重要であると締めくくりました。



## 地区運営方針

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC

花田ガバナーエレクトは、RIテーマ「ロータリーのマジック」を受け、「個性輝くロータリー」を地区スローガンに掲げました。このスローガンは、自分自身の本質と時代への変化のバランスをとりながら、他者への思いやりを持った活動を実践するとい



う、ロータリアンとしての姿勢を示しています。

### 1. 地区スローガンと緊急事態宣言

地区スローガン：「個性輝くロータリー」

全ての人々が個人として尊重され、個性を發揮して人生を輝かせられることを目指します。一人ひとりが個性を發揮し、他者の個性を尊重する気持ちをもって活動することで、仲間が増え、地域社会の発展や世界平和につながると信じています。



### 第2830地区 緊急事態宣言

2024年1月のRI理事会で、2026年7月1日までに会員数が1,100名に達しなかった場合、2028年7月1日から隣接地区と合併する決議が採択されました。2023年7月1日現在、会員数は1,082名であり、合併を回避するためには会員増強が急務の最重要課題です。



### 2. 重点項目と推進策

合併回避のためには、魅力あふれるクラブ作りが必要であり、以下の5つの重点項目に取り組みます。

重点項目	推進のポイント
1. ロータリーの行動計画 (Action-Plan)を理解し、推進しよう	RIの長期的な戦略計画(5年間)を理解し、地区要覧やクラブ会報に掲載するなど、目にする機会を増やして活動の方向性を確認します。
2. 参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう	親睦と奉仕を実践するため、ロータリアンや家族、入会候補者にも積極的に活動への参加を促し、親睦と奉仕の機会を増やします。
3. DEI+Belonging (帰属意識)を育もう	DEI委員会を中心に組織作りやセミナーを開催し、理解を深めます。また、新入会員がクラブを超えて交流し、ロータリーを学べる機会を作るなど、地区として新入会員のフォローを強化して帰属意識を高めます。
4. クラブでの体験を魅力的なものにしよう	ロータリアン一人ひとりの素晴らしい体験やクラブの活動を積極的に発信し、共有することで、共感を呼び、仲間を増やし、さらに魅力的な経験を広げます。
5. 奉仕活動の継続性を意識しよう	奉仕活動に年度を超えた継続性(Continuity)を持たせる視点を重視し、「インパクト(よい変化)」につなげます。次年度から導入される「3-Year Rolling Target(3年間の目標設定と地域計画)」を策定し、成功と継続性を築きます。

### 3. 目標達成度と地区委員会の協力

#### 目標達成度の評価

重点項目の進捗と成果は、以下の3つの尺度で評価します。

1. 会員満足度調査における満足度の割合(「クラブの健康チェック」を活用)。
2. 活動内容の発信(報道機関やSNS等への発信方法と回数)。
3. 会員の増加数。

#### 地区委員会の活動と連携

全ての委員会は、以下の3点を共通して取り組みます。

1. 委員会相互の連携を図り、複数の委員会が参加する活動を積極的に行います(例：会員増強と公共イメージの協働)。
2. 奉仕活動を大いに発信し、ホームページやSNSなどを活用します。
3. 委員長が一人で抱え込まず、地区チーム(委員、ガバナー補佐、地区幹事など)全員で協力して進めます。

今後、地区戦略計画委員会を強化し、合併回避の「1,100名の壁」をクリアしつつ、「3-Year Rolling Target」の達成を目指します。ガバナーは、あらゆる委員会や奉仕活動に可能な限り参加し、チームメンバーとともに行動していきます。

## 委員会活動予算の説明

次期地区財務委員長

**木村 康仁**

五所川原RC



お手元の資料、18ページ、19ページをご覧ください。2024年-25年の地区予算書となっております。収入が花田年度と築館年度と併記されております。(予算案読み上げ)

## 地区行事予定

次期地区副幹事長

**今 広 樹**

五所川原RC



配布資料25ページ「2024-25年度主要行事予定表(案)読み上げ。

## 地区ホームページについて

地区ホームページ担当

**近 藤 陽 介**

五所川原RC



2830地区のホームページは、源新ガバナー年度に大規模なリニューアルを行い、現在のようになっております。まだ観たことのない方は、是非観て頂きたいと思います。このホームページはシステム化されたつくりになっておりまして、更新がしやすい構成となっております。花田ガバナーエレクトからは、次年度は更に情報発信に力を入れて行きたいと聞いております。次年度委員長の皆さまは、発信したい情報がございましたら私の方に送ってくださいますようお願いいたします。ホームページの更新はお任せください。よろしくお願いいたします。

## ガバナーノミニー デジグネートの紹介

ガバナー

**築 館 智 大**

八戸RC



築館ガバナーより、成田俊介ガバナーノミニーデジグネート(弘前西RC)が紹介された。

## 地区役員を紹介します

進行：次期地区副幹事長  
**平山 敦士**  
五所川原RC



## 地区事務所スタッフを紹介します

進行：ガバナーエレクト  
**花田 勝彦**  
五所川原RC



## 次期地区委員長代表挨拶

次期クラブ拡大・  
会員増強委員長  
**吉田 賢治**  
八戸南RC



## ガバナー補佐研修

1 地区組織におけるガバナー補佐の位置づけを確認し、委員の役割をガバナーエレクトから説明した。

- ① 地区表彰委員会
- ② 国際大会推進委員会
- ③ 戦略計画委員会
- ④ 資金推進委員会

いずれも地区における重要な問題を扱う委員会であり、ガバナー補佐に期待されているのは、担当するクラブに働きかけたり、クラブから情報を得て地区に還元したりすることであることを確認した。

2 チェックリストを用いて、過去二回実施したガバナー補佐研修の際に各自で実行していただきたいとお願いしていたことを確認し、まだ実行していない方は所定の時期までに実行していただきたいとガバナーエレクトからお話した。

(1) 2024.2月中

ラーニングセンターの受講、地区チームのメンバーとの顔合わせ、名刺交換、担当クラブのクラブセントラルの確認、担当クラブの次年度会長幹事の把握・連絡先交換、現ガバナー補佐との意見交換

(2) PETS前後まで

ガバナー補佐としての活動計画の立案、次年度会長幹事との面談、クラブの健康チェックの実施、クラブ訪問のスケジュールを担当クラブと調整、IMのテーマとスケジュールの検討

(3) PETS以降年度開始前まで

クラブセントラルへの目標入力の確認、IMのテーマとスケジュールの確定、次々年度のガバナー補佐選任に向けた協議



## 会員増強委員会

1. スリーイヤーローリングターゲットプラン(3年計画 1年ごとの見直し有)

3年計画で進める。2カ月をめぐりに委員会または委員長・委員の懇談開催

2. 各クラブの現状把握と分析 (2月～3月)

クラブへ訪問し会員拡大についての考え方をきく(PETSに次年度会長・幹事が来た時にアンケート回収)

3. 各クラブごとの対策案の検討(3月～4月)

改修アンケートをもとに、クラブや会長の考え方・やる気度の把握  
クラブがやる気を出すような具体的対策案を策定

4. 各クラブへ対策案の実施(4月～5月)

地区研修協議会(DTA)にてクラブ次年度会長幹事会員拡大増強委員長と具体的対策案を協議する

5. 各クラブの次年度計画目標設定の確認(5月～6月)クラブセントラルへの入力

クラブセントラルへの目標入力確認

7. 問題点の抽出と再対策案の検討と実施(7月～)

期日を決めて、対策案を打っていく。期間を長くとりず達成状況を見ながら再対策案を実施する。

8. 各自グループのクラブに会員増強の依頼・卓話に訪問する際は、¥2,000/回補助する"



## 公共イメージ向上委員会

### 1 自己紹介 2 活動計画

- ① End Polio Now地区全体的発信しよう
- ② 津軽鉄道を一両借りきる。End Polio NowTシャツを着て集まる
- ③ よりインパクトを強めるために、エルムに集まりイベントを計画する
- ④ 音楽例えばジャズなどを演奏して、ポリオウオークをしたり、ピラを配る
- ⑤ 高瀬さんがプロジェクトマネージャー
- ⑥ 地区の委員会に協力と連携を図る
  - ・ SNSを発信する 責任マネージャーは吉田さん 助手マネージャー小田山さん高木さん
  - ・ Xでガバナーに眩いていただく
  - ・ インスタや地区のSNSに集めた情報を流す
  - ・ クラブのイベント情報をどのようにしてキャッチする？課題



## 社会奉仕・職業奉仕委員会

### 2024-25年度事業にて

1. じょっぱり経済学 青森大学との協定によりロータリーアンを講師派遣
2. 2025.01.25 地区職業奉仕セミナー 開催(詳細は後日)
3. クラブのプログラムに、職業奉仕の卓話を計画していただきたい
4. 他委員会との連携によりロータリーの関係性を深め互いに支援しあえる環境づくりを目指す



## ロータリー財団部門

1. 地区委員間での情報共有を行うこと
 

地区補助金について、クラブからの申請書類の確認やクラブへの訂正依頼など、地区委員間でデータ共有を行い、また、ZOOM等で定期的に打合せを行う。
  2. 地区補助金申請に関して、記入上の注意事項や申請書作成マニュアル(記載例付きの詳細なもの)を作る。
  3. 次年度申請受付(2024年3月25日メ)について、各クラブへ申請意向確認を行うとともに、申請書注意点などの連絡を行う。
 

また、申請クラブに対して申請書類作成の支援をすることを伝える。
- 補足 西尾委員長の考え



4. 各クラブでの地区補助金を利用した活動の内容を発信する。

財団セミナーでクラブの活動報告はあるが、当日会場出席者には伝わるが、クラブメンバーまで伝わっているかは不明。そのため、各クラブの活動実績をfacebook等で発信していきたい。

2023-2024年度では、33クラブが実施しているため、週に1回発信する仕組みをつくれば、1年を通して2830地区として継続して発信することができ、公共イメージ向上につながる。

【グローバル補助金委員会】

このグローバル補助金事業は、ロータリーが重点分野としている七つの課題に対処するための非常に有力な手段と考えています。そして、この役職において、より広範で効果的なプロジェクトの実施を通じて、より多くの人々に奉仕の手を差し伸べることを目指したいと思いますし、皆様のご指導とご支援を心よりお願いいたします。

グローバル補助金は、複数国のロータリークラブと地区による共同事業に対して授与される大規模で測定可能な成果を生む持続可能な活動が対象の補助金です。

当地区のこれまでのグローバル補助金による活動実績は、  
(My Rotary 補助金センターの記録から 2011以降現在まで)

- ・ 基本的教育と識字率向上 3件
- ・ 水と衛生 9件
- ・ 疾病予防と治療 6件
- ・ 平和構築と紛争予防 1件
- ・ 奨学金 2件

この中で、現在進行中なのは補助金番号GG2347411とGG2458743です。プロジェクトは、最終報告書を提出し、TRF(ロータリー財団)からのファイナルクローズの連絡を受けて終了となりますので、そこまでの経過を見守りたいと考えています。

【ポリオプラス委員会】

委員会活動を円滑に行うために年度開始までにお互いをLINEのグループ「2830地区ポリオ委員会」に登録して意見の交換を密にする。現時点で5名中3名を登録完了しています。

2024年10月12日(土) 13日(日)開催の地区大会の日に合わせて世界ポリオデーのイベントを地区の委員会として行います。予定は五所川原市内でのウォークラリーを検討しています。

2024年11月23日(土)羽田発でパキスタン国カラチ市でのポリオワクチン接種活動に地区から12名のロータリアンで活動する予定です。過去にインドにローターアクトを1名参加していましたが、パキスタンでもローターアクトの参加を促していきます。活動費25万円の予算はローターアクトの参加のために使いたいと考えています。世界ポリオデーのイベントのTシャツの作成は行わず、世界ポリオデーで全国のロータリアンが共通で使用しているオクトン社のTシャツを各自で購入いただく予定です。

また、1月、2月のパキスタンの活動も全国で企画されていますが、これらの情報も地区に発信していく予定です。(今年度欠員が7名出た地区があり、次年度もそのような欠員が出た場合当地区からの参加者を募ります)

花田インカミングガバナーから「じょっぱり-看護の人花田ミキ」の映画上映を企画しているということなのでポリオプラス委員会として協力します。

昨年同様にパキスタンでの活動を動画で作成して、公共イメージ向上委員会に拡散をお願いする予定ですが、ロータリアンや若い人向けのポリオ感染症に関する動画を作成して地区のホームページやSNSに投稿します。

## 国際奉仕・青少年奉仕部門

第1 分科会の前半は委員会毎に会議を実施した。詳細については以下の通りである。

### 1. 青少年交換委員会：委員会の基本と近況の共有

- (1) 地区青少年交換委員会の概要
- (2) 受け入れ学生 Mikai Carlson さんの件
- (3) 派遣学生 柴田怜音さんの件
- (4) 次年度派遣予定学生の件
- (5) RIJYEM研究会 青森会議(2025年)の件

### 2. インターアクト委員会：委員会の基本と2024-25年度の活動計画の共有

- (1) 年次大会の実施
- (2) アクトの翼事業の実施
- (3) ガバナー表彰(委員会・クラブ会長表彰)の実施

昨今、多くの各校IACが、クラブ員の減少等により活発な活動ができない状態となっている傾向が見受けられます。各提唱クラブとも歩調を合わせながら「活動の活性化」を目指し、地区委員会としても対策を考えていきたいと思っております。

### 3. ローターアクト委員会：委員会の課題と年度の活動目標の共有

- ・現在のローターアクト(以下「アクト」)は活動が縮小されている。
- ・活動を主体とするアクトと例会を主体とするアクトがあり、活動が縮小されながらも続けているアクトは、例会を主体とするアクトとのこと。
- ・活動を主体とするアクトにたいして、例会の必要性をどのように伝えるかが課題。
- ・また、年次大会も「開催」だけを考えると可能かもしれないが、なぜ年次大会をやるのかなどの意味が分からなければ、持続するものにはならない。
- ・アクトの横のつながりをつけたいため、できればスポンサークラブにもご協力いただき、一度、現在のアクトのメンバーの顔合わせもしてみたい。

### 4. RYLA委員会：

- ①次期委員の顔合わせ、名刺交換
- ②諸連絡を取るためのLINEグループの作成
- ③2024年度委員長三浦基氏作成の2024-25RYLA活動計画の読み合わせ

田中PG年度に新型コロナウイルスで中止していた宿泊付きRYLAプログラムを再開させ青森公立大学で



実施、築館年度は2024年6月8日(土)・9日(日)に東北町の原燃テクノロジーセンターで実施予定です。

花田年度では2回実践してみでの教訓を生かしブラッシュアップさせ、1泊2日での開催に変更はなしですが、開催場所・テーマ・講師について委員会で話し合い実行いたします。

委員会の打合せについてはZOOMを使用しながら無駄な移動が無い様に心がけます。

参加の青少年に関してはインターアクトクラブ・ローターアクトクラブ・青少年交換留学生・米山記念奨学生とロータリアン企業の若手社員(後継者含む)・意欲のある青少年を対象として広く参加していただけるよう心がけます。

花田年度に関して、現在決定しているのは開催日程のみで、2025年6月14日(土)・15日(日)を予定してございますので、皆様におかれましてはスケジュールを空けておいていただきますようお願い申し上げます。

**第2 後半は合同で会議を以下の通り行なった。内容は以下の通りである。**

青少年交換委員会から2025年6月7日～8日開催のRIJYEM研究会青森会議に向けて、2024年5月11日～12日開催の同山形会議にて危機管理と青少年奉仕についての学習と併せ青森会議への誘致活動のためへの参加を呼びかけ。

人数がそろえば、団体でバスを仕立てての移動を企画することも併せて提案した。

## 米山記念奨学委員会

当委員会では、私含め5名で分科会を実施し、当日配布資料(次頁の添付資料)を使用し、花田年度の行事予定やお世話する米山奨学生の情報、そしてお願いする事などを説明した。以下、意見等頂いた事項を添付資料の項目に従って列挙する。



### 【組織について】

特になし

### 【年間スケジュールについて】

- ①修了証書授与式に対象とならない米山奨学生も参加させたらどうか?との意見があった。
- ②2025年4月予定のオリエンテーションは、米谷年度のPETSと日程が被るかもしれないので、日程調整を米谷年度最上幹事長と相談することと田中アドバイザーより指摘があった。

### 【予算について】

特になし

### 【米山奨学生について】

個人情報観点もあるが、受付時など米山奨学生の名前と顔が一致しないので、資料に顔写真などもう少し情報が欲しいとの意見があった。

### 【お願い】

- ①米山奨学生及びカウンセラーへのフォローアップに対し、横連携が出来るような場を検討したらどうかとの意見があった。(ハラスメント防止、お世話に対する不安の払しょくなど)
- ②Oクラブへの寄付増進に対し、米山との距離を身近にしたり、集め方の手法など各クラブへお伝え出来る情報が必要ではとの意見があった。
- ③米山奨学生への卓話依頼(各クラブより)は、早めに取りまとめて貰い、委員のアテンドに繋げて欲しいとの意見があった。(対応が委員会になるので早めが望ましい)
- ④LINEグループ作成に参加者から確認を取ると共に、携帯番号やPCアドレスなど連絡先を確認した。

⑤ 情報発信について、月信用のデジタルカメラでの撮影もさることながら、各自スマホで撮影頂き、発信ネタを集めて欲しい旨、お願いした。

【その他】

年間スケジュールについては、記載の通りで進めますが、会場の兼ね合いがあるので、現在ホテル青森及びアスパムに日程の確認をしています。

## DEI推進委員会

2024.10 映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」の上映会をポリオプラス委員会と協議後決定する。

2024.11 RLI委員会の中にDEIについてのセッションを設けていただき研修する。

DEI研修：現在工氏確認中。委員会単独になるか、南グループIMの中でできるかまだ未確認



## RLI委員会

新規委員も交えての自己紹介に続き、米谷現委員長より、ファシリテーター50名を目標として各グループを通じて各クラブへと働きかけている現状が述べられるとともに、3月10日(日)青森市はまなす会館にて行われるファシリテーター研修会において、2週間後に控える会長エレクト研修セミナー(PETS)に向けての模擬セッション①「クラブを元気にするために」②「クラブの健康チェック」を行い、準備を進める旨、RLIセッション進行表とともに説明された。

またRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)への関心や参加者数を向上するための仕掛けや方法等についての意見も交わされた。



## 水野功次期RI理事を囲む会



## 講 評

地区ラーニングファシリテーター

**源 新 和 彦**

八戸北RC



皆さん大変お疲れさまでした。皆さんは地区のリーダーチームとして、新年度のスタートラインにやっと立つことが出来ました。心からお祝い申し上げます。そしてまた、水野RI理事エレクトにおかれましては、遠方よりわざわざお出でいただき、また貴重なご講演を賜りまして、心から御礼申し上げます。皆さん今日水野様のご講演を聞いてご理解いただけましたように、20年のRIの変化についてお話しいただきました。もちろん社会もこの20年変わっておりますし、変化のスピードも増しております。ですから、過去の成功事例を持ち出して、現在の現在の課題解決をすることは、中々難しい社会情勢に

なっています。では、私たちは何をすればいいのか。学び直し「リスキリング」です。ロータリーの基本、現状、そして社会の現状、そして社会のニーズ。そういったものを私たちがもう一回学び直す必要があると私は思っています。その上で新しい、現代にマッチした解決手法見出していく、それが皆さんの肩に課せられた、大きな役割であると思っています。来年度、花田ガバナーの元、ここにいる皆さんが力を合わせ、手を携えて地区内の課題解決に向かって、精一杯頑張ることを期待しておりますし、私も一生懸命頑張らせて頂きますので、一年間よろしくお願いたします。本日はお疲れさまでした。

## 閉会点鐘・挨拶

ガバナーエレクト

**花 田 勝 彦**

五所川原RC



懇親会挨拶

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC



皆さまお疲れさまでした。

これからの時間は、大いに親睦を深めて、新たな年度に向けた奉仕活動のイメージを作ってくださいねと思います。

まずは座席の配置について、従来とは異なり、パストガバナーのアドバイザーの皆様を含めた委員会ごとといたしましたのでご了承くださいたく存じます。

分科会で各部門のアドバイザーとご挨拶ができなかった方は是非ご挨拶をし、活動内容のアイデアを膨らませていただきたいと思います。

次にこの懇親会では1月1日に起こった令和6年能登地震への義援金を募りたいと思います。

妻は金沢市出身、私も5年半金沢に住んだ縁がご

ざいます。今回の地震は、和島、珠洲というなじみのある場所で起こった大きな災害でした。

縁があって能登半島・輪島市のワイナリーで作ったワインを入手することができました。石川県産の日本酒と梅酒、ノンアルコールの方にはブドウジュースも用意してございます。一杯飲んだらお気持ちを募金箱に入れていただければと存じます。

まだまだ被災地では不十分な生活を余儀なくされています。

石川、富山の2610地区の大橋エレクトによれば、能登半島の先端には輪島、珠洲を含めて、5つのクラブがあるそうですが、震災後はまだ活動できていないそうです。

ところで、皆様にお配りした地区バッジ、青森県の形、中に星が書いている位置が、ここ五所川原でございます。津軽といえば何か、ということで、津軽塗と津軽三味線がいいのではないかと、という私のパートナーの発案で、昨年5月からオクトンの山崎さんとデザインの話し合いをして製作を進めました。山崎さんによれば、今年の地区バッジの中では最も手間暇がかかっているということです。

今日はお時間の許す限り、親睦を深めていただきたいと思います。

ありがとうございました。



## 地区チーム研修セミナー 出席者名募

役 職 等	参加者氏名	所属クラブ名	分 科 会
国際ロータリー理事エレクト	水野 功	東京飛火野	水野次期RI理事を囲む会
〃 パートナー	水野 利津子	東京飛火野	
ガバナー 2024-25年度会員増強部門副アドバイザー	築 舘 智 大	八 戸	水野次期RI理事を囲む会
パストガバナー	関 場 慶 博	弘前アップル	水野次期RI理事を囲む会
パストガバナー	島村 吉三久	五所川原イヴニング	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度地区ラーニングファシリテーター	山 崎 淳 一	五 所 川 原	水野次期RI理事を囲む会
〃 パートナー	山崎 田鶴子	五 所 川 原	
2024-25年度国際奉仕・青少年奉仕部門副アドバイザー	村 井 達	八 戸	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕部門副アドバイザー	小山内 康晴	弘 前	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度公共イメージ向上部門副アドバイザー	北 山 輝 夫	八 戸 北	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度会員増強部門アドバイザー	工 藤 武 重	弘 前 西	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度DEI推進部門副アドバイザー	鈴 木 唯 司	青森モーニング	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度ロータリー財団部門アドバイザー	長 嶺 康 廣	八 戸 南	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度DEI推進部門アドバイザー	佐々木千佳子	十 和 田	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度公共イメージ向上部門アドバイザー	今 井 高 志	弘 前	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度国際奉仕・青少年奉仕部門アドバイザー	沼 田 廣	青 森	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕部門アドバイザー	源 新 和 彦	八 戸 北	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度ロータリー財団部門副アドバイザー	成 田 秀 治	五所川原イヴニング	水野次期RI理事を囲む会
2024-25年度米山記念奨学部門アドバイザー	田 中 常 浩	む つ	水野次期RI理事を囲む会
ガバナーエレクト	花 田 勝 彦	五 所 川 原	ガバナー補佐研修
〃 パートナー	花 田 千 津	五 所 川 原	
ガバナーノミニー	米 谷 恵 司	青森モーニング	RLI
2024-25年度東第1グループガバナー補佐	蛭 沢 公 洋	東 北	ガバナー補佐研修
2024-25年度東第2グループガバナー補佐	佐々木 紀仁	十 和 田 東	ガバナー補佐研修
2024-25年度西第1グループガバナー補佐	小田桐 浩	五所川原イヴニング	ガバナー補佐研修
2024-25年度西第2グループガバナー補佐	成 田 学	弘前アップル	ガバナー補佐研修
2024-25年度南グループガバナー補佐	島 浦 理	八 戸 西	ガバナー補佐研修
2024-25年度RLI委員長	三 浦 真 介	弘 前	RLI
2024-25年度RLI委員	欠 畑 茂 治	十 和 田 東	RLI
2024-25年度RLI委員	三 上 信 吾	弘 前	RLI
2024-25年度RLI委員	最 上 伸 子	青森モーニング	RLI
2024-25年度RLI委員	橘 正 弘	青森モーニング	RLI
2024-25年度RLI委員	道 尻 誠 助	八 戸	RLI
2024-25年度RLI委員	石 橋 信 雄	八 戸	RLI
2024-25年度クラブ拡大・増強委員長	吉 田 賢 治	八 戸 南	会員増強部門
2024-25年度クラブ拡大・増強委員	峯 雅 夫	む つ	会員増強部門
2024-25年度クラブ拡大・増強委員	吉 田 敏 宏	お い ら せ	会員増強部門
2024-25年度クラブ拡大・増強委員	石 川 佳 共 子	青 森	会員増強部門
2024-25年度クラブ拡大・増強委員	浅 利 壽 信	五 所 川 原	会員増強部門
2024-25年度クラブ拡大・増強委員	齊 藤 直 飛 人	板 柳	会員増強部門
2024-25年度クラブ拡大・増強委員	千 葉 瑛 子	弘 前 西	会員増強部門
2024-25年度公共イメージ向上委員長	工 藤 孝 子	弘 前 東	公共イメージ向上部門
2024-25年度公共イメージ向上委員	齊 下 了 介	十 和 田 八 甲	公共イメージ向上部門
2024-25年度公共イメージ向上委員	高 瀬 英 人	五 所 川 原	公共イメージ向上部門
2024-25年度公共イメージ向上委員	吉 田 立 盛	八 戸 南	公共イメージ向上部門
2024-25年度公共イメージ向上委員	小 田 山 紀 暢	八 戸	公共イメージ向上部門

地区チーム研修セミナー 出席者名募

役 職 等	参加者氏名	所属クラブ名	分 科 会
2024-25年度公共イメージ向上委員	赤城 麻依子	五所川原イヴニング	公共イメージ向上部門
2024-25年度公共イメージ向上委員	成 田 和 代	五所川原イヴニング	公共イメージ向上部門
2024-25年度公共イメージ向上委員	安田 美香子	五所川原イヴニング	公共イメージ向上部門
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕委員長	岩 岡 隆 雄	八 戸 東	社会奉仕・職業奉仕部門
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕委員	長谷川 通	五 所 川 原	社会奉仕・職業奉仕部門
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕委員	蒔 苗 俊 二	弘 前 西	社会奉仕・職業奉仕部門
2024-25年度ロータリー財団委員長	佐 藤 健 一	青 森	R財団部門
2024-25年度ロータリー財団委員	工 藤 真 人	青 森	R財団部門
2024-25年度地区補助金委員長	西 尾 和 樹	八 戸 南	R財団部門
2024-25年度地区補助金委員	新岡 壮太郎	青森モーニング	R財団部門
2024-25年度地区補助金委員	宮 崎 敬 也	五所川原中央	R財団部門
2024-25年度地区補助金委員	中 畑 肇	弘 前 西	R財団部門
2024-25年度グローバル補助金委員長	須 藤 朗	野 辺 地	R財団部門
2024-25年度グローバル補助金委員	小 泉 陽 大	六 ヶ 所	R財団部門
2024-25年度グローバル補助金委員	伊 東 睦	三 沢 東	R財団部門
2024-25年度資金推進委員長	櫛 引 大 樹	青 森	R財団部門
2024-25年度平和フェロシップ・奨学金・学友委員長	竹 島 直 樹	十 和 田 東	R財団部門
2024-25年度平和フェロシップ・奨学金・学友委員	本堂 きみゑ	青森モーニング	R財団部門
ガバナーノミニーデジグネート/2024-25年度ポリオプラス委員長	成 田 俊 介	弘 前 西	R財団部門
2024-25年度ポリオプラス委員	土 橋 伸 行	青森モーニング	R財団部門
2024-25年度ポリオプラス委員	坂 本 幸 光	鶴 田	R財団部門
2024-25年度ポリオプラス委員	下 山 勝	十 和 田 八 甲	R財団部門
2024-25年度国際奉仕委員	白 山 春 男	十 和 田 東	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度青少年交換委員長	岡 山 信 広	六 ヶ 所	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度青少年交換委員	小 関 優	鶴 田	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度青少年交換委員	細 川 勝 也	弘 前	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度ローターアクト委員長	竹 内 知 弘	弘 前 西	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度ローターアクト委員	白 鳥 五 大	青 森	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度ローターアクト委員	川 浪 剛 功	五 所 川 原	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度ローターアクト委員	坂本 慎之介	む つ	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度インターアクト委員長	松 山 隆 志	野 辺 地	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度インターアクト委員	石 橋 博 仁	三 沢	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度インターアクト委員	太 田 哲 也	弘 前	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度インターアクト委員	伊 藤 圓 子	八 戸 中 央	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度インターアクト委員	正部家 淳司	八 戸	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度RYLA委員	三 戸 靖 史	五所川原イヴニング	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度RYLA委員	須 藤 一 幸	青森モーニング	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度RYLA委員	伊 藤 幸 生	青 森	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度RYLA委員	奈 良 昭 仁	つ が る	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度RYLA委員	齋 藤 義 史	弘 前	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度RYLA委員	藤 川 聡	青 森	国際奉仕・青少年奉仕部門
2024-25年度米山記念奨学委員長	佐 藤 一 尚	青 森	米山記念奨学部門
2024-25年度米山記念奨学委員	清 藤 繁 光	五 所 川 原	米山記念奨学部門
2024-25年度米山記念奨学委員	高 井 孝 治	つ が る	米山記念奨学部門
2024-25年度米山記念奨学委員	佐 藤 玲 恵 子	弘 前 西	米山記念奨学部門
2024-25年度米山記念奨学委員	坂 井 哲 博	青森モーニング	米山記念奨学部門

## 地区チーム研修セミナー 出席者名募

役職等	参加者氏名	所属クラブ名	分科会
2024-25年度DEI推進委員長	源新 育子	八戸北	DEI推進部門
2024-25年度DEI推進委員	白濱 憲一	むつ	DEI推進部門
2024-25年度DEI推進委員	柏 公市	青森	DEI推進部門
2024-25年度ロータリーの友地区代表委員	木下 一志	五所川原	
2024-25年度地区財務委員長	木村 康仁	五所川原	
2024-25年度地区幹事長	木村 重介	五所川原	
2025-25年度地区副幹事長	今 広樹	五所川原	
2024-25年度地区副幹事長／DTTS実行委員長	平山 敦士	五所川原	
2024-25年度地区副幹事長	敦賀 鉄正	五所川原	
2024-25年度地区会計長	寺田 和仁	五所川原	
2024-25年度地区幹事	阿部 哲也	五所川原	
2024-25年度地区幹事	寺田 明代	五所川原	
2024-25年度地区幹事	太田 康成	五所川原	
2024-25年度地区幹事	今 直樹	五所川原	
2024-25年度地区幹事	佐藤 昭義	五所川原	
2024-25年度地区幹事	野上 友明	五所川原	
2024-25年度地区幹事	中山 佳	五所川原	
2024-25年度地区幹事	成田 学治	五所川原	
2024-25年度地区幹事	清野 悟	つがる	
DTTS実行委員会・地区ホームページ担当	近藤 陽介	五所川原	
DTTS実行委員会	丸海老 隆	五所川原	
DTTS実行委員会	澤田 長二郎	五所川原	
オブザーバー(クラブ会長)	藤井 健二	青森モーニング	
事務局	浅利 育子	地区事務所	

### 【分科会会場名】

ガバナー補佐研修	4階	さくら総合法律事務所(相談室1)
会員増強部門	2階	第1研修室
公共イメージ向上部門	4階	研修室1
社会奉仕・職業奉仕部門	4階	さくら総合法律事務所(相談室2)
R財団部門	4階	研修室2
国際奉仕・青少年奉仕部門	5階	特別会議室
米山記念奨学部門	2階	ホール(本会議室)
DEI推進部門	5階	小会議室
RLI	2階	第2研修室
水野次期RI理事を囲む会	5階	会頭室

Rotary  
District 2830

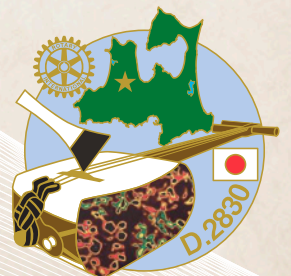


# PETS

会長エレクト研修セミナー報告

と き 2024年3月23日(土)  
24日(日)

ところ ホテルサンルート五所川原  
五所川原商工会館



1日目 2024年3月23日(土)

本会議		会場・ホテルサンルート五所川原	
12:30	登録受付		
	全体会議	進行 五所川原RC	島村 寿子
13:00	開会、点鐘・招集挨拶	ガバナーエレクト	花田 勝彦
	国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
	ガバナー挨拶	ガバナー	築舘 智大
	PETS 研修概要とスケジュールの説明	次期地区ラーニングファシリテーター	山崎 淳一
13:15	RI会長テーマと地区運営方針	ガバナーエレクト	花田 勝彦
13:55	休憩		
14:05	基調講演 「クラブ会長の役割と責務」	ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 ロータリー米山記念奨学常任理事	田中 久夫
15:25	休憩		
15:35	パネルディスカッション 「クラブリーダーとしての準備」	モデレーター： 次期地区ラーニングファシリテーター パネラー	山崎 淳一 花田 勝彦 田中 久夫 尾畑 知洋
16:15	国際ロータリー日本事務局からのお知らせ	国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室 シニアコーディネーター	尾畑 知洋
	地区行事予定の報告	次期地区副幹事長	今 広樹
	地区予算(案)の説明	次期地区財務委員長	木村 康仁
	地区報告について	次期地区副幹事長	平山 敦士
	地区ホームページについて	地区ホームページ担当	近藤 陽介
16:55	地区役員の紹介とクラブ会長へのお願い (ガバナー補佐・各委員会委員長)	進行：次期地区幹事長	木村 重介
17:35	閉会、点鐘	ガバナーエレクト	花田 勝彦

懇親会		会場・ホテルサンルート五所川原	
		進行 次期地区幹事	清野 悟
18:00	御礼の挨拶	ガバナーエレクト	花田 勝彦
	乾杯	ガバナー	築舘 智大
19:30	中締め	副ガバナー	田中 常浩
	手に手つないで		

2日目 2024年3月24日(日)

		会場・ホテルサンルート五所川原	
	〈全体会議〉	進行 次期地区幹事長	木村 重介
9:00	開会、点鐘	ガバナーエレクト	花田 勝彦
	分科会の説明	RLI 地区代表ファシリテーター	源新 和彦
RLI形式による次期クラブ会長のファシリテーション(次期会長及び幹事の皆様)			
9:10	移動・休憩(会場移動)		
9:20	〈分科会〉 第1分科会 セッションテーマ「クラブを元気にするために」	地区 RLI ファシリテーター	
10:20	移動・休憩(会場移動)		
10:30	第2分科会 セッションテーマ「クラブの健康チェック」	地区 RLI ファシリテーター	
11:30	移動・休憩(会場移動)		
地区リーダー懇談会(ガバナー、パストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長の皆様)			
9:10	移動・休憩(五所川原商工会館 5階特別会議室へ移動)		
9:30	第1懇談会 テーマ「地区運営について」	進行：戦略計画委員長	今井 高志
10:20	休憩		
10:30	第2懇談会 テーマ「地区委員会の活動について」	進行： 地区ラーニングファシリテーター	源新 和彦
11:20	移動・休憩(サンルートへ会場移動)		
11:40	〈全体会議〉 講評・挨拶	RLI地区代表ファシリテーター	源新 和彦
11:40	PETS修了証書交付 挨拶 ガバナー講評	ガバナーエレクト ガバナーエレクト ガバナー	花田 勝彦 花田 勝彦 築館 智大
12:00	閉会点鐘	ガバナーエレクト	花田 勝彦

招集挨拶

ガバナーエレクト  
**花田 勝彦**  
五所川原RC



皆さんこんにちは。今日は2024-25年度の会長エレクト研修セミナー(PETS)に第2840地区パストガバナーで第1地域ARPICの田中久夫様、パートナーの和美様をお迎えして、地区内40クラブの会長エレクト、幹事エレクトと次期地区リーダーの皆様、そして国際ロータリー日本事務局から尾畑知洋様にもこの五所川原においていただきました。

こうしてPETSを開催することができますことをまずは皆様に感謝申し上げます。

今五所川原での最大のニュースは、ご存知でしょうか。シネコンの復活や春の甲子園、青森山田高校のサヨナラ勝ちも大きなニュースではありますが、そうです、尊富士。五所川原出身の新入幕11連勝というあの大横綱大鵬に並ぶ連勝記録を打ち立て、昨日も勝ちました。今日勝てば何と110年ぶりの新入幕優勝という大変明るい全国版のニュースとなっております。

さて、私は、1月7日から11日までアメリカフロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加し、多くのことを学んで、無事帰国の途につくことができました。

昨年11月25日の壮行会には、多くの皆様からの激励をいただき、本当にありがとうございました。

今日明日2日間で行う会長エレクト研修セミナーは、会長エレクトが就任の準備をするための機会を提供するとともに、次期地区リーダーとクラブの会長エレクト、幹事エレクトが協力関係を築くことを目的とするものです。

ステファニー・A・アーチックRI会長エレクトのテーマ講演を始めとして、本会議や分科会のセッション、世界中のガバナーエレクトやリーダー達との出会いを通じて、国際協議会で学んだ多くのことを本日ご参加の皆様にお伝えし、次年度の方針と熱意を共有したいと考えています。

私は、この国際協議会で、志を同じくする多くの友人と出会い、同じ時間を過ごしたことによって、

ロータリーが大好きになって帰ってまいりました。次年度のガバナーに就任するための燃えるようなエネルギーをいただけてきたと感じています。

RI会長エレクトのテーマや地区スローガン、重点事項については、後ほどご説明いたしますが、キーワードとなるのがIrresistibles(イリジスティブル)です。アーチック会長エレクトがよく使う言葉で、日本語にはしづらいのですが、「抗えないほどの魅力」、そのような魅力あふれるクラブやチームを作っていきたいという強い決意の感じられる言葉です。

この2日間が充実した学びの時間となるよう、実行委員会一同、準備して参りました。本日ご参加の皆様にとっても、実り多いPETSとなることを期待しております。

ガバナー挨拶

ガバナー  
**築 館 智 大**  
八戸RC



皆様、こんにちは。いよいよPETS(次期会長・幹事研修)を迎え、花田年度が本格的に始まることを実感しています。

先月のDTTS(地区チーム研修セミナー)は地区スタッフ向けのトレーニングでしたが、PETSには次年度の各クラブの会長・幹事の皆様にお集まりいただいております。ここから新年度がスタートするという思いです。

先ほど花田エレクトから「トレーニング」と「ラーニング」の違いについて話がありましたが、「トレーニング」は教わること、「ラーニング」は自ら積極的に学ぶことです。このPETSの機会を、皆様が積極的に学ぶ場として、この二日間、長丁場ではありますが頑張ってご参加いただきたいと思います。

私から一点だけお願いがあります。各クラブ独自の事業を進める中で、もしPETSで学んだことと「少しずれているかな」と感じるがありましたら、各委員長やガバナー補佐に遠慮なく相談してください。

「ワンチーム」の意識で一丸となり、花田年度の

2830地区を共に盛り上げていただきたいと考えています。

二日間、どうぞよろしくお願いいたします。

### PETS研修概要とスケジュールの説明

次期地区ラーニングファシリテーター  
**山崎 淳一**  
五所川原RC



本研修の目的は、PETS(会長エレクト研修セミナー)のキーワードである「準備・備える」にあります。トレーニング(基礎)とラーニング(応用)は両方必要不可欠であり、基礎固めとしての研修への積極的な参加を重視します。

#### 研修プログラムの構成

目次	形式	目的・テーマ	備考
1 日目	研修型 セミナー	基礎知識の 習得と準備	終日実施。夜に 懇親会を予定。
2 日目	RLI形式 ファシリ テーション	応用的な議 論と実践	形式を明確化す るため、参加者 を2つに分割。

#### 1日目(研修型セミナー)の主要プログラム:

1. RI会長エレクトのテーマと地区運営方針の発表(花田エレクト)
2. 「クラブ会長の役割と責務」(田中久夫氏)
  - 原理原則に関する講義。資料は地区事務所に問い合わせ可能。
3. パネルディスカッション「クラブリーダーとしての準備」
4. RI日本事務局からの支援体制に関する報告(尾畑知洋氏)
  - 日本事務局からの参加は異例。地区・クラブへの支援役割を説明。
5. 地区からの各種報告

#### 2日目(RLI形式ファシリテーション)の参加者区分:

1. 会長・幹事：RLI形式のファシリテーション

スタイルで2つのセッションを受講。

2. 地区リーダー(パストガバナー、委員長、ガバナー補佐等)：別会場で地区リーダー懇談会を実施。

#### 年間主要スケジュール

時期	会合名	招集者/講演者	テーマ
5月	地区協議会	鈴木一作様 (基調講演)	「今こそクラブ奉仕を(What's the Rotary)」
10月	地区大会	高野孫左エ門様 (シニアリーダー)	「ロータリーの変遷と本質」
4月26日	地区クラブ活性化ワークショップ	花田勝彦 ガバナー	会員増強を中心としたワークショップを想定

### RI会長テーマと地区運営方針

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC

#### 1. 国際協議会(IA)参加報告とRIテーマ

2024年1月7日から12日にかけて、米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会(IA)に参加いたしました。IAは4日間にわたって7回の本会議とRLI形式の分科会で構成され、本会議はディスコサウンドが流れる活気ある雰囲気での始まりでした。アーチックRI会長エレクトは、「The Magic of Rotary」(ロータリーのマジック)を2024-25年度のRIテーマとして発表されました。この「マジック」は、何かを振って魔法のように変えるという意味ではなく、ロータリアン一人ひとりの行動こそがマジックを起こすというメッセージが込められています。

テーマ講演の要点は以下の通りです。

- \* 行動計画の活用：行動計画(Action Plan)を「クラブの体験を魅力的なもの(Irresistible)にする手段」と位置づけ、クラブの奉仕を重視。クラ

ブ会員のニーズと地域社会のニーズを橋渡しするよう呼びかけがありました。

- \* **平和の推進**：「四つのテスト」を平和構築の手段と捉え、自分自身の内面の平和から他者への思いやりある行動を導くことの重要性を強調。
- \* **DEIの進化**：DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にBelonging(帰属意識)を加え、さらに一歩進めた推進を提唱。
- \* **優先事項**：最優先課題は会員増強を推し進める行動計画、次いで積極的平和の実現、そして継続性の確保が挙げられました。特に、ガバナー年度が終わった後も継続性を意識することが求められています。

## 2. 地区の未来がかかる緊急課題

2024年1月12日から13日に開かれたRI理事会において、当第2830地区を含む世界6地区について、2026年7月1日までに会員数が1,100名に達しない場合、2028年7月1日より隣接地区と合併するという決議がなされました。

現在(2024年3月15日時点)の会員数は1,103名とわずかに上回っていますが、過去3年連続で年度初めの7月1日時点の会員数は1,100名を下回っています(昨年は1,082名)。

これは地区にとって、まさに緊急事態です。地区の合併を回避するため、会長エレクトの皆様をはじめ、会員一人ひとりの本気の会員増強への取り組みが急務の課題となります。

## 3. 地区スローガン「個性輝くロータリー」

### に込めた思い

RIテーマにある「自分自身を見つめ、他者に対する思いやりをもった言動を行う」というロータリアンの立ち振る舞いを踏まえ、当地区のスローガンを「個性輝くロータリー」といたしました。

全ての人個人として尊重され、その個性を発揮し、他者の個性を尊重する気持ちをもってロータリー活動を実践することで、仲間が増え、地域社会の発展や世界平和の実現に繋がっていくと信じています。このスローガンのもと、他者への思いやりを持った活動を通じて、ロータリーの素晴らしい世界を共に体験していきましょう。

## 4. 地区運営5つの重点目標

ロータリーの行動計画と地区の緊急課題を踏まえ、以下の5点を重点項目として推進します。

### 1. ロータリーの行動計画(Action Plan)を理解し、推進しよう

- 「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」の4点について、クラブの年次計画書や例会での唱和などを通じて、理解促進を図ります。

### 2. 参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう

- 親睦と奉仕はまず参加から始まります。会員やその家族はもちろん、入会候補者にも活動に参加してもらい、ロータリーを理解してもらう機会を創出します。

### 3. DEI+Belonging(帰属意識)を育もう

- 「誰もが、笑顔で、居心地の良いクラブ」を目指し、新設のDEI委員会を中心に、組織的な推進と各クラブでの取り組みを歓迎・協力します。

### 4. クラブでの体験を魅力的なものにしよう

- ロータリアン一人ひとりの体験やクラブの素晴らしい活動を積極的に発信・共有し、共感を広げます(ホームページ等での事例紹介を推進)。

### 5. 奉仕活動の継続性を意識しよう

- 「ワン・イヤー・ルール」から脱却し、活動に年度を越えた継続性(Continuity)を持たせることで、より大きなインパクトを目指します。次年度より地区・クラブにおいて、3年間の目標と地域計画(3-Year Rolling Target/Plan)を策定します。

## 5. 終わりに

RIは、クラブが長期的な視点で計画を作っていくことを重視しています。この「3年間の目標」は数値目標であり、クラブセントラルへの入力求められます。クラブ会長エレクトの皆様には、まず次年度の目標設定に入力し、クラブの目標達成に向けた具体的な行動を起こしていただくようお願いいたします。

魅力的なクラブを作り、会員の満足度を高めることが、結果として会員増強に繋がり、地区の未来を守ります。次期地区リーダー、会長エレクト、幹事エレクトの皆様と、この1年間、そしてそれ以上の期間、力を合わせて行動していくことを楽しみにしています。

基調講演

「クラブ会長の役割と責務  
魅力的なクラブへの道筋」

ロータリー公共イメージ  
コーディネーター補佐  
ロータリー米山記念奨学会  
常任理事

田中久夫  
高崎RC



導入：会員増強の成功事例と心得

**クラブ会長の役割と責務**  
~RID2830 PETS~  
2024.3.23

国際ロータリー第2840地区バスタガバナー (2017-2018)  
田中久夫 (高崎RC)  
国際ロータリー 第1地域 ARPIC  
(公財) ロータリー米山記念奨学会 常務理事  
(公財) 米山梅吉記念館 理事

私自身、高崎ロータリークラブの会長年度(当時64名)で会員増強に挑戦し、最終的に年間51名の入会を得て、クラブを115名にまで成長させることができました。特に、それまで男性のみだったクラブに女性会員7名を迎えたことは大きな変革でした。この成功の鍵は、会長の強いリーダーシップと、クラブの基礎を固めるための研修やセミナーを徹底して行ったことにあります。

本日は、その経験も踏まえ、「クラブ会長の役割と責務」として、クラブの発展を図るための4つのステップをおさらいします。

孔子「知・好・楽」の教え…言行集「論語」より

【知・好・楽】 ⇒ 知ること < 好きになること < 楽しむこと

- ⇒ i ロータリーをただ知る(勉強する、知識を持つ)だけではなく、
- ii ロータリーを好きになり、
- iii さらに楽しむまでに至ってこそ、本物のロータリアンになれる
- ⇒ 「ロータリー精神」とは何か? ⇒ 「超我の奉仕」(Service Above Self)
  - ・「私たちは社会において善良でなければならない」
  - ・「自分の有利に振る舞わない、他人を大切にする」

ステップ1：クラブの理想的将来像を構想する

会長年度末に「どんなクラブになっていきたいか」という理想的将来像と目標を明確に設定することが重要です。

- \* 理論面：ロータリーの目的やモットーを重視したクラブを目指す。
- \* 形式面：会員純増数、女性会員数、各種寄付といった具体的な数値を目標に掲げる。

具体的な行動の提案として、他クラブの研究やメイクアップによる情報収集、そして何よりも会長・幹事中心で皆が参加するイベントを企画し、実行することです。

リーダーシップのあり方

クラブを発展させるには、強い意志が必要です。会員数が減少するなど「緊急時」には、会長が強力なリーダーシップでトップダウンで目標を定め、周囲を引っ張っていく「力技」も必要です。反対意見があっても、会長は1年間クラブを動かす強い覚悟を持つべきです。

ステップ2：“弊害・障壁”を取り去る勇気を出せ

**【問題】 「老太狸暗」という漢字が読めますか？**

**【解答】** 「ロータリアン」と読みます そのコロは、

「老」：クラブの将来にはまったく関心がなく、自分のことだけに執着している人  
 「太」：自分が得をすることだけに腐心していて、まるで行動(ニコニコ・寄付等)が伴わない口先だけの人、ジコチュー(自己中心)  
 「狸」：クラブ・地区等の活動には参加せず、汗をかかないようにふるまう狡猾な人  
 「暗」：その人がいるだけで周囲が暗くなるような負のオーラを持った人

このような人が好んで集まるクラブには将来はありません  
 このような人をクラブの中核に据えてはいけません  
 皆さんは、自クラブを良い方向に導いていく水先案内人です 責任を果たしましょう!

クラブが成長を阻まれる要因として、全国的に見られる4つの問題点が存在します。これらに真摯に向き合い、変革する勇気が必要です。

1. シニア会員の自覚・立ち位置：「自分は十分貢献した」としてクラブのことより自分を優先し、口を出すが行動が伴わない(老太狸暗のような)シニアの自覚の欠如。年齢に関わらず、自制と可愛がられる努力が必要です。
2. 新会員へのフォロー不足：せっかく入った新会員が定着できるよう、クラブに居続けることが有意義だと思える楽しい環境を作ること。クラブで最も若い人をメンターとし、新会員のメンター役を担ってもらうことも有効です。

3. クラブ会長ほか幹部のやる気のなさ：特に会員増強に対し、「今のソサエティが壊れる」といった現状維持思考や、定員制の意識がクラブの高齢化と衰退を招いています。会長は「当事者として向き合い、絶対に逃げず、やり切る覚悟」を持つことが基本的心得です。

4. 日本版“DEI”の存在：

- D (多様性)：女性会員の少なさ。
- E (公平さ)：若手とシニアの格差・世代間ギャップ。
- I (インクルージョン)：「うちのクラブはこうしてきた」という排他的な文化。

アーチックRI会長エレクトも変革の時期だと述べている通り、居心地の良いクラブ、すなわちDEI推進(D = 誰もが、E = 笑顔で、I = 居心地の良いクラブ)を意識したクラブづくりが急務です。

**「例会」の効用 (もっとも大切なロータリー行事)**

**i シニア会員にとっての例会**  
 ⇒ シニア会員には「キョウヨウ」と「キョウイク」が必要だという古語  
 ⇒ 「キョウヨウ」： 今日、用がある  
 「キョウイク」： 今日、行くところがある

**ii 中堅会員にとっての例会**  
 ⇒ 仕事、家庭の充実のための人脈 (エグゼクティブ・クラス) の活用

**iii 若手会員・新会員にとっての例会**  
 ⇒ 未知の業界における多数・多様な人脈を一週に手に入れられること  
 社交界へのスムーズなデビューが果たせる

ステップ3：クラブでの体験を魅力的なものにする

会員増強・維持の絶対法則は“クラブの居心地”の改善にあります。

居心地の方程式：心地よさ(承認欲求)温かい配慮(寛容さ)=会員増強・維持

- \* ロータリーの魅力：ロータリーの魅力は、「自分磨きの旅」(人生の道場)を経験できることです。
- \* 例会の充実：ロータリー活動の基本である例会は、シニア会員にとっては「今日、用がある／行くところがある(キョウヨウ／キョウイク)」の場、若手にとっては多数多様な人脈を得られる場です。会長は卓話などでロータリーの話積極的に発信し、例会を「人生最後の友人」を作れる「心の慰安の場所」にすることが重要です。

INCLUSION(包摂性)を重視し、すべての会員が自分らしく参加できるよう、お互いへの温かい配慮(優しさ、寛容さ)が行き届いたクラブへと変革しましょう。

III “クラブの居心地” …会員増強・維持の絶対法則

“クラブ内の居心地”

心地よさ × 温かい配慮 = 会員増強・維持  
(承認欲求)                      (社会的欲求)  
(皆からの認知)                      (寛容さ)

ステップ4：“奉仕”ができる人になる

成長したロータリアンが次に行うべきは、「弱い人」を助けることであり、これこそが真の「成長」です。

- \* 奉仕の精神：「奉仕(寄付)はお金のある人がすることではなく、心のある人がすること」です。
- \* 寄付の意義：寄付は「無形の契約」であり、自分自身のスケールを大きくするための行動です。水野功RI理事エレクトは寄付を「第二の奉仕」と述べています。

会員増強・維持の最終段階 ⇒ “自利”を超えて  
さらにもう1ステップ

クラブの成長は“5段階”の実現から (マズローの) 向上(改)

	最終	“自分を超えて”	⇒	超我の精神
	IV	“奉仕の仲間”と集う	⇒	楽しいところに人は集まる
	III	“クラブの居心地”を改善する	⇒	会員増強・維持の絶対法則
	II	“障害・障壁”を取り去る	⇒	全国のクラブには共通した“4つの問題点”がある
	I	“クラブの将来像”を構想する	⇒	全員で○年後の理想のクラブを話し合う

結び：ロータリアンとしての人生の豊かさ

人生の豊かさは「お金」ではなく、「自分らしく生きる勇気」「仕事以外の楽しみ」「友達」といった要素にこそ関係します。ボビー・ジョーンズが「人生の価値は、どれほどの財産を得たかではない。何人のゴルフ仲間を得たかだ」と述べたように、ロータリアンという仲間を得ることこそが人生の豊かさです。

新会員の「ロータリーに入ることがどれだけ本人の為になるのか」を本人自身がよく理解してくれるよう努めること、そして新会員が楽しそうに、嬉しそうにしている姿を見ることがこそが、私たちの最大の喜びです。

年齢、性別、在籍年数に関わらず、クラブから求められる適材になり、その役割を果たすために努力しましょう。

## パネルディスカッション

### 「クラブリーダーとしての準備」

モデレーター

山崎 淳 一 五所川原RC

パネラー

花田 勝彦 五所川原RC

田中 久夫 高崎RC

尾畑 知洋 RI日本事務局

「クラブ会長の役割と責務」の講演を受け、新年度に向けたクラブリーダーの具体的な準備と、喫緊の課題である会員増強について活発な議論が交わされました。



#### 1. RIが求める準備とリソース

国際ロータリー(RI)は、次期クラブリーダーに対し、以下の2点の準備を強く推奨しています。

- \* **ラーニングセンターの活用**: 会長エレクトは「クラブ会長の基本」コースなど、幹事エレクトは「クラブ幹事の基本」コースを、エレクト年度中に修了することが求められています。これは、共通の知識を共有し、地区会合での学びを深めるためです。
- \* **ロータリークラブセントラルへの目標入力**: 目標26項目のうち半分以上を達成すると「クラブ

優秀賞」が受賞できます。当地区は既に40クラブ中38クラブが入力済みという驚異的な実績がありますが、未入力クラブも7月までに必ず完了することが確認されました。また、長期目標がないクラブは「戦略計画立案ガイド」を活用し、中長期的なビジョンを描くことが推奨されました。

花田ガバナーエレクトからは、地区として準備した「クラブ会長となるための準備」資料(QRコード集合む)と、マイロータリー登録をサポートする会場スタッフの活用を改めて促しました。

#### 2. 会長・幹事の「本気」と会員増強の具体策 (田中氏)

田中氏は、クラブの将来は会長・幹事の「本気」にかかっているとし、「クラブ会長は1年間、気持ちを新たにして皆を巻き込むことが重要だ」と強調しました。

会員増強の具体的な「コツ」として、以下の実践的な方法が提案されました。

- \* **人事戦略**: 会員増強委員長には、年長のパスト会長ではなく、若い会員を据えること。「お金は出すが、口は出さない」シニア会員が若手を支援する体制が不可欠です。
- \* **若手主導のターゲット選定**: 友達が多く、ロータリーに誘えそうな若手会員数名をメンバーとする「会員増強会議」を開き、入会候補者リストを作成させる。
- \* **トップセールス**: リストで重複した本命の候補者に対し、会長と推薦者が翌朝一番に訪問し、即座に勧誘を行う。その際、決定権を持つ社長や親に対し、社会的デビューや新しい世界を提供できるメリットを会長自らが説得すること。



#### 3. 会員増強と「質」への意識

##### 多様なクラブの可能性(尾畑氏)

RI日本事務局の尾畑氏からは、会員増強は例会

時間や曜日、年齢層など、既存のクラブの「受け皿」に入れない多様な人々を受け入れる土壌を作ることであると述べ、モーニングクラブやイブニングクラブなど、定款細則上の制約はほとんどないため、地区や事務局に相談して柔軟に新クラブ結成や多様な例会形式を模索してほしいと協力を申し出ました。

#### 地区合併回避と「質の追求」

山崎PGは、緊急課題としてRI理事会で決定された「2026年7月1日までに会員数が1,100名に達しない場合、2年後に他地区と合併する」という危機的な状況を再確認しました。この課題に対し、米谷ガバナーノミニエは、ただ人数を増やすのではなく、「ロータリーは良いことをする団体であり、そういった人が増えるともっと世の中が良くなる」という会員増強の必要性・本質を訴えなければ、会員は本気にならないと訴えました。

山崎PGは、この意見を受け、会員増強は「質」の問題であると述べ、5月の地区研修・協議会でも改めて本質的な議論を行う意向を示しました。



#### 4. 閉会にあたっての励ましの言葉

最後に、登壇者から次期クラブリーダーに熱いエールが送られました。

- \* 尾畑氏：RI日本事務局として、会員増強の必要性を伝える役割を担い、地区からの連絡を心待ちにしていると表明。
- \* 田中氏：会員増強の成功は「ロータリーが楽しいから」であり、会長の皆様が体験した\*\*『ロータリーモーメント』を会長卓話でストーリーを付けて若い会員に伝えることが、楽しさを広げ、会員増強に繋がると激励。
- \* 花田ガバナーエレクト：「情熱を持って楽しくやる」ことに加え、「同期のクラブ会長エレクトとして知り合いを広める機会」にしてほしいと述べ、懇親会での交流を促しました。また、

メイクアップの際には若手を必ず連れて行き、他のクラブの様子を見せてインスパイアするよう推奨。

山崎PGは、「蒔いた種の通りに花が咲く」という安岡正篤氏の言葉を引用し、クラブの未来は会長・幹事の皆様が蒔く「人事」「イベント」「例会」などの新しい種によって決まると結び、ディスカッションを締めくくりました。

### 国際ロータリー日本事務局 からのお知らせ

国際ロータリー日本事務局  
クラブ・地区支援室  
シニアコーディネーター

#### 尾畑 知洋



#### \* 日本事務局の組織と役割について

- 国際ロータリーの事務局は、米国シカゴの本部のほか、日本を含む世界7箇所に設置されています。
- 日本事務局は「クラブ・地区支援室」「財団支援室」「管理室」「財務室」の4部署、総勢13名の職員で構成されており、日本の34地区すべてをサポートしています。

#### \* 定款・細則の遵守とガバナンスについて

- クラブ運営の根幹となる「国際ロータリー定款」「国際ロータリー細則」「標準ロータリークラブ定款」は、3年に一度の規定審議会によって決定・改定されるものであり、各クラブが勝手に内容を変更することはできません。
- これらは改定されると、各クラブが採択していなくても自動的に適用されます。
- 一方、各クラブが独自に作成・変更できるのは「クラブ細則」のみです。クラブの現状に合わせて細則を整えることが、健全な運営に繋がります。

#### \* 柔軟なクラブ運営の在り方について

- かつてのような「例会は60分」「必ず食事を伴う」といった厳格な規定は現在ありません。
- 例会の頻度(月2回以上)、開催時間(朝・昼・晩)、開催方法(対面・オンライン・ハイブリッド)な

どは、各クラブの判断で自由に決定できます。

- 「例会に行かなければならない」という義務感ではなく、会員が「行きたい」と思えるような、多様なニーズに合わせた柔軟な運営が推奨されています。

- \* **DEI(多様性、公平さ、包摂)と会員基盤について**
  - 入会資格において、性別、人種、宗教、性的指向などによる制限を設けることは認められません。
  - 単に多様な人材を集めるだけでなく、入会した全員が「自分の居場所がある」と感じられる(包摂される)環境作りが、会員維持において極めて重要です。
- \* **ラーニングセンターの活用依頼**
  - My Rotary内の「ラーニングセンター」には、会長・幹事向けの学習コースが充実しています。研修の補完として、役員就任前にぜひ活用してほしいと述べられました。

## 地区行事の報告

次期地区副幹事長

**今 広 樹**

五所川原RC



- \* **主要行事の予定:**

- 2025年 5月: 地区研修協議会(五所川原)
- 10月: 地区大会(本会議:五所川原オルテンシア)
- 12月: RLI研修会(はまなす会館)、アクトの翼(台湾派遣予定)

## 地区報告について

次期地区副幹事長

**平 山 敦 士**

五所川原RC



- \* **事務報告に関するお願い:** 月次の例会報告や会員

数報告の期限(毎月15日)を厳守してください。また、My Rotaryへの登録はクラブ運営に必須ですので、未登録の方は早急な対応をお願いいたします。

## 次年度地区予算(案)の承認

次期地区財務委員長

**木 村 康 仁**

五所川原RC



- \* 予算案の提示:事業活動収入合計3,214万7,347円、支出については配付資料記載のとおりとする次年度予算案が提示されました。
- \* 決議結果:会長エレクトの皆様による採決の結果、4分の3以上の賛成により、原案通り可決承認されました。

## 地区ホームページについて

地区ホームページ担当

**近 藤 陽 介**

五所川原RC



- \* 情報発信の強化: ガバナー月信や各委員会のニュース、各種資料のダウンロード機能を備えたポータルサイトとして運営しています。
- \* 新コンテンツの紹介: 青少年交換事業やDEI、ローターアクトなどの個別ページを充実させています。各クラブからの情報発信も随時受け付けていますので、積極的な活用をお願いいたします。

地区役員の紹介とクラブ会長  
へのお願い(ガバナー補佐・各委員会委員長)

〈進行〉  
次期地区幹事長

**木村 重介**  
五所川原RC



次期西第1グループ  
ガバナー補佐

**小田 桐 浩**  
五所川原イヴニングRC



「卓話の充実」を提案されました。近隣の会長同士で情報交換を行い、外部講師の紹介などで協力し合うことで、楽しい例会を作りたいと述べられました。

ガバナー補佐

次期東第1グループ  
ガバナー補佐

**蛭沢 公洋**  
東北RC



懇親会などの交流を通じて皆様からご指導を仰ぎたいと述べ、次年度の協力を呼びかけられました。

次期西第2グループ  
ガバナー補佐

**成田 学**  
弘前アップルRC



ガバナー補佐としての重責を感じつつも、担当する8クラブの会長と協力し、花田年度の目標を楽しく達成できるよう頑張りたいと決意を語られました。

次期東第2グループ  
ガバナー補佐

**佐々木 紀仁**  
十和田東RC



クラブ運営には計画性が重要であるとし、地区からの依頼事項については締め切りを守って提出していただくようお願いされました。

次期中グループ  
ガバナー補佐

**蝦名 正治**  
青森北東RC



ガバナーと地区を繋ぐ役割の重要性に触れ、中グループとして一丸となり、地区のために一生懸命取り組みたいと述べられました。



次期南グループ  
ガバナー補佐

**島 浦 理**  
八戸西RC



ガバナーと9つのクラブを円滑に繋ぐことが役割

であるとし、各クラブの個性を尊重しながら、その声をガバナーに伝えていく姿勢を示されました。

## 各委員会委員長

RLI委員長

**三浦 真介**

弘前RC



12月に開催されるRLI研修会への参加を呼びかけられました。また、研修を円滑に進める「ファシリテーター」の候補者を各クラブから推薦してほしいと依頼されました。

クラブ拡大・会員増強  
委員長

**吉田 賢治**

八戸南RC



会員増強には「会長・幹事のやる気」が不可欠であると強調されました。各クラブを訪問して相談に乗りながら、会員拡大に努めたいと述べられました。

公共イメージ向上委員長

**工藤 孝子**

弘前東RC



SNSを戦略的に活用してロータリーのイメージを高めたいとし、各クラブの活動情報を寄せてほしいと依頼されました。ポリオ根絶の啓蒙活動も計画されています。

社会奉仕・職業奉仕  
委員長

**岩岡 隆雄**

八戸東RC



10月と1月の奉仕月間のプログラムを充実させてほしいと述べられました。また、青森大学での講座『じょっぱり経済学』への講師派遣やセミナーへの参加を呼びかけられました。

ロータリー財団委員長

**佐藤 健一**

青森RC



寄付が自分たちの地域の事業に還元されている仕組みを説明されました。来年度の地区補助金申請(3月20日締切)の徹底と、寄付ゼロクラブの解消を強く要請されました。

国際奉仕委員長

**柴田 文彦**

むつ中央RC



台湾への「アクトの翼」派遣交渉やインドでの奉仕活動の検討など、国際奉仕を通じて人生を豊かにするための手助けをしたいと述べられました。



米山記念奨学委員長

**佐藤 一尚**

青森RC



事業への理解を深めるための「豆辞典」の通読を推奨されました。また、奨学生を卓話に招いて交流することや、寄付への継続的な協力を依頼されました。

ロータリーの友  
地区代表委員

**木下一志**

五所川原RC



雑誌『ロータリーの友』を新会員教育や退会防止に役立ててほしいと述べられました。特に、電子版へのアクセスと活用を促進してほしいと依頼されました。

DEI推進委員長

**源新育子**

八戸北RC



多様性、公平さ、包摂を重んじる文化作りを提唱されました。誰もが居心地が良いと感じるクラブにするため、クラブ内での話し合いや委員会の設置を提案されました。





開会挨拶：花田勝彦ガバナーエレクト



田中久夫様へ記念品の贈呈



尾畑知洋様へ記念品の贈呈



乾杯：築館智大ガバナー



中締め：田中常浩副ガバナー



手に手つないで



## 開会、点鐘

ガバナーエレクト

## 花田 勝彦

五所川原RC



花田ガバナーエレクトは冒頭、前日の田中久夫氏による基調講演を振り返り、「個性輝くロータリー」という地区スローガンのもと、各クラブが独自の個性を生かした次年度準備を進めるよう激励しました。また、実務的な案内として以下の事項に触れました。

- \* 資料共有：講演パワーポイント等は地区ホームページからダウンロード可能であること。
- \* 支援報告：前日の懇親会で集まった能登半島地震支援金(8万1,300円)を、全額第2610地区へ送金することの報告。
- \* My Rotary：クラブ運営に不可欠なMy Rotaryへのログイン環境を整えるよう、改めて推奨しました。

## 分科会の説明

RLI地区代表  
ファシリテーター

## 源新 和彦

八戸北RC



源新ファシリテーターより、本日のメインプログラムであるRLI形式のセッションについて説明がありました。

この方式は「教わる」のではなく「自ら発言し、他者の意見を聞く中でインスピレーションを得る」対話型研修です。源新氏は、活発な意見交換のために「30秒～1分以内の短い発言」「他者の意見を否定しない」「ポジティブ・建設的な思考」の3点を心がけるよう、受講者に呼びかけました。

## RLI 形式による次期クラブ会長のファシリテーション (ホテルサンルート五所川原)

## 第1セッションのテーマ

## 「クラブを元気にするために」

(配布資料) 元気なクラブづくりのために

## 〈セッションの目標〉

- ①クラブの現状(強み・弱み)を振り返る
- ②どのようなクラブが元気、あるいは理想的なクラブなのかを考える
- ③元気なクラブにするために何をしたいかを考える

## 〈セッション〉

1. 自分のクラブは元気だと自信のある方は挙手願います。それはどんな点で元気なのかお話しください。
2. 今感じている自分のクラブの長所と短所を一つずつ挙げてみましょう。
3. どのようなクラブが元気なクラブだと思いますか？
4. 元気なクラブであるためにはどんな要素が必要でしょうか？なんでも挙げてみましょう。

5. 元気なクラブにするために、まず最優先で手掛けたいことは何でしょうか？お話しください。
6. どのような具体的なステップでクラブ活性化を進めたいですか？

## 〈まとめ〉

資料の「元気なクラブづくりのために」の最後に「元気なクラブになるためのステップ」がよくまとまっていますので参考にさせていただきます。

## 【ゴールのイメージ】

- ①クラブを元気にするためには、何らかの変革が必要であるという意識を強く持っていただく
- ②何もしなければ、クラブは衰退するという自覚を促す
- ③元気なクラブづくりへ取り組もうとする姿勢をもってクラブへ持ち帰っていただく

第1分科会 セッションテーマ  
「クラブを元気にするために」



第2セッションのテーマ

「クラブの健康チェック」

- (配布資料) ①クラブの健康チェック  
②戦略計画立案ガイド

〈セッションの目標〉

- ①クラブの現状を確認する
- ②どんなクラブにしたいかのビジョンを明確にする
- ③クラブの戦略計画の策定の必要性を理解する

〈セッション〉

1. まず、「クラブの健康チェック」に記入してください。左の□箱印がある頁の項目を読んでチェックしてみてください。診断と処方箋のページは後日ゆっくり読んで最後まで仕上げてください。今日はチェックだけでこれから20分をお願いします。
2. チェックして現時点で何がクラブの最大の課題点だと感じましたか？ お聞かせください。
3. あなたのクラブを将来どんなクラブにしたいかのビジョンをお話してください。
4. ビジョンを実現するために、現状とのギャップをどのようなステップで解決していきたい

と思いますか？

5. クラブの活性化のためには「クラブの戦略計画の策定」が効果的な方法だと思います。
6. すでにクラブの戦略計画を策定したというかてはいますか？ どんな内容か簡単にお話してください。
7. (予備の質問)次期RI会長テーマ「ロータリーのマジック」についてはどう受け止めていますか？
8. (予備の質問)次期地区テーマ「個性輝くロータリー」についてはどういう印象ですか？

〈まとめ〉

クラブの健康チェックは、各項目の診断と処方箋を読み込んで完成させ、クラブの戦略計画の策定に生かしてください。

【ゴールのイメージ】

- ①クラブの現状分析をして課題を明確にする
- ②どんなクラブにしたいかのビジョンをできるだけ明確、具体的に
- ③実現ためのクラブの戦略計画の策定の必要性を感じてクラブに持ち帰る

## 第2分科会 セッションテーマ 「クラブの健康チェック」



### 地区リーダー懇談会（五所川原商工会館）

PETS 2日目、パストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長らが一堂に会し、第一部として「地区運営全般」、第二部として「地区委員会の活動について」をテーマとした懇談会が開催されました。特に、地区の存続に関わる「会員増強」と「地区合併」の課題を中心に、熱のこもった議論が展開されました。

#### 第一部 地区運営と会員増強の戦略的展望

##### ■ 地区の危機的状況と2026年問題

進行役を務めた今井戦略計画委員長より、国際ロータリー(RI)理事会の決定により、2026年7月1日時点で会員数が1,100人に満たない場合、当地区は隣接地区と合併することが決議されたこと、当地区は過去3年間1,100人を下回った(1,099人の時期があった)ことで対象となっており、2028年の合併を回避するためには、2026年7月までの会員増強が至上命題となっていることが共有されました。

##### ■ 地区合併を巡る多様な視点

合併の是非については、パストガバナーらから率

直な意見が相次ぎました。

- \* **地理的・財政的懸念**：2540地区との合併となると、移動距離の長さによる負担増(下北から秋田まで8時間など)や、過去の地区分割時の経緯、財政状況の差を懸念する声が出されました。
- \* **主体的な議論の必要性**：単に「合併が嫌だから増強する」のではなく、自分たちの地区を守る価値があるのか、道南や岩手など他地区との連携も含め、クラブ会長会議等で本質的な議論を尽くすべきとの提言がありました。

##### ■ 会員増強への新たな切り口と課題

各ガバナー補佐からは、現場の苦境と打開策が報告されました。

- \* **現状の厳しさ**：少子高齢化や人口減少(限界集落化)により、物理的に候補者がいない、あるいは会費負担等の財務面からクラブ解散に至った事例が報告されました。
- \* **増強のアイデア**：ライオンズクラブ解散に伴う会員の受け入れ、同業種による他地区への推薦、ライラ(RYLA)を通じた社員へのロータリー浸

透、政治・宗教関係者への誤解解釈の是正、例会時間の変更による出席率向上などが提案されました。

- \* **女性・若手・衛星クラブ**：DEIの観点から、女性による衛星クラブの立ち上げ準備や、パートナーの入会(細則の活用)など、従来の視点に捉われないアプローチの重要性が強調されました。

### ■ 増強委員会の覚悟：吉田増強委員長

議論の締めくくりとして、吉田増強委員長より決意表明がありました。

- \* **視点の転換**：少子高齢化や人口減少を「できない理由」にするのではなく、DEIに基づき、これまで目を向けていなかった女性や若手へのアプローチを強化すべきだと強調しました。
- \* **実践中の衛星クラブ**：実際に築館ガバナーと共に、女性たちの声をきっかけとした衛星クラブの立ち上げ準備を進めている事例を紹介しました。
- \* **不退転の決意**：「己のすべてを懸け、絶対に逃げずにやり遂げる」と述べ、合併を前提とした議論ではなく、クラブの活性化による純増を成し遂げたいと力説しました。

### ■ 総括：山崎パストガバナー

懇談会の最後に、山崎パストガバナーよりガバナー補佐の役割について確認がなされました。

- \* **戦略計画委員会との連動**：ガバナー補佐は地区の「戦略計画委員会」の構成メンバーであり、地区の成長戦略を各クラブへ浸透させる重要な役割を担っていることが再確認されました。
- \* **機動的な予算活用**：戦略計画委員会での検討を経て、会員増強活動のために予備費を流動的に活用できるよう枠組みを整えていることが確認されました。

## 第二部 地区委員会の活動について

第2部では、地区ラーニングファシリテーターの源新和彦パストガバナーが進行役となり、各地区委員長より新年度の具体的な活動計画が示され、クラブへの支援体制や新たな取り組みについて活発な意見交換が行われました。

### ■ 公共イメージ委員会：戦略的な情報発信と啓蒙活動

工藤委員長より、SNSを活用した積極的な発信や、ポリオデーにおける津軽鉄道・エルムでの啓蒙活動、報道機関向け勉強会の実施計画が共有されました。意見交換では、3月8日の「国際女性デー」に合わせた発信について、女性会員の集いとの連携が示唆されました。

### ■ 青少年交換委員会：受け入れプログラムの充実

岡山委員長より、六ヶ所RCでの受け入れ事例や、2024年6月のRIJYEM青森会議に向けた準備状況が報告されました。特に、留学生への日本語教育プログラムの整備や、地区予算に頼らない中での宿泊・懇親会のあり方など、受け入れ体制の質的向上が課題として挙げられました。

### ■ ロータリー財団関連：補助金活用と平和フェローシップ

- \* **グローバル補助金(須藤委員長)**：認知度を高め、クラブ単独でも活用できるよう支援します。DDF(地区指定寄付金)の運用規定に基づいた効果的な活用を推進します。
- \* **平和フェローシップ(竹島委員長)**：2025年秋の派遣に向けて2名の面接を行い、うち1名の内諾を得ていることが報告されました。

### ■ 会員増強委員会：実態調査に基づく伴走型支援

吉田委員長は、地区協議会までに各クラブの現状(実態調査)を把握する方針を示しました。「各グループの委員やガバナー補佐と連携し、クラブ内での検討を経た上で、具体的な支援策を講じたい」と述べ、現場に即した増強活動への協力を求めました。

### ■ ロータリーの友委員会・公式訪問への提言

- \* **ロータリーの友(木下委員長)**：「ぜひ読んでください」というアピールに加え、各クラブのイベント記事などを投稿することで、より身近に感じてもらう取り組みを推奨しました。

## 講 評

RLI地区代表  
ファシリテーター

### 源 新 和 彦

八戸北RC

分科会終了後、源新和彦RLI地区代表ファシリテーターより講評をいただきました。

源新氏は、セッションを終えた参加者へ「楽しかったですか」と問いかけ、ファシリテーターたちの尽力に感謝を述べました。内容について「一つでもクラブ運営のヒントを掴んでいただければ幸いです」とし、継続的な学び直すと、7月からの実務への反映を期待すると述べました。

また、今回のPETSを「花田ガバナーエレクトの熱意を強く感じられる、素晴らしい中身のある内容だった」と高く評価しました。新年度に向けた各委員長の決意についても触れ、本日の勢いそのまま「地区研修協議会」、そして新年度へと突き進んでいきたいと、力強く締めくくりました。

## PETS修了証書交付



代表 八戸RC橋本会長エレクト

## 挨 拶

ガバナーエレクト

### 花 田 勝 彦

五所川原RC

2日間の長丁場を締めくくるにあたり、花田勝彦ガバナーエレクトより挨拶がありました。

まず、無事にプログラムが終了することへの安堵と感謝を述べるとともに、事情により欠席や途中退席となった方々へは、後日個別にフォローを行う意向を示しました。

今回のプログラム構成については、会長・幹事エレクトの研修に重点を置いたため、地区委員長の紹介時間が短くなったことに言及し、5月の「地区研修協議会」で改めて各委員会の活動を発信する場を設けると約束しました。

また、初の試みとなった「地区リーダー懇談会」については、ファシリテーターからのフィードバックを求めるとともに、今回の記録やパワーポイント資料を地区ホームページで共有し、各クラブの準備に役立ててほしいと述べました。「私自身も皆様と協力して頑張りますので、ぜひお力を貸してください」と、一致団結した運営を呼びかけました。

## ガバナー講評

ガバナー

### 築 館 智 大

八戸RC

最後に、築館智大ガバナーより講評が述べられました。

2日間のハードな日程に加え、夜の親睦会を経て、今まさに受講者の皆様の中に「エネルギーがフツフツと湧いている」であろうことに触れ、その熱量を絶やさないと重要性を説きました。

さらに、自身もガバナーとして6月末まで全力で走り抜く覚悟を示しつつ、「6月になったら(エネルギーを)プツリと切っていいですから、それまでは

花田年度を丸となって楽しい地区にするように頑張らしましょう」とユーモアを交えながら会場を鼓舞し、2日間を締めくくりました。

## 閉会点鐘

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

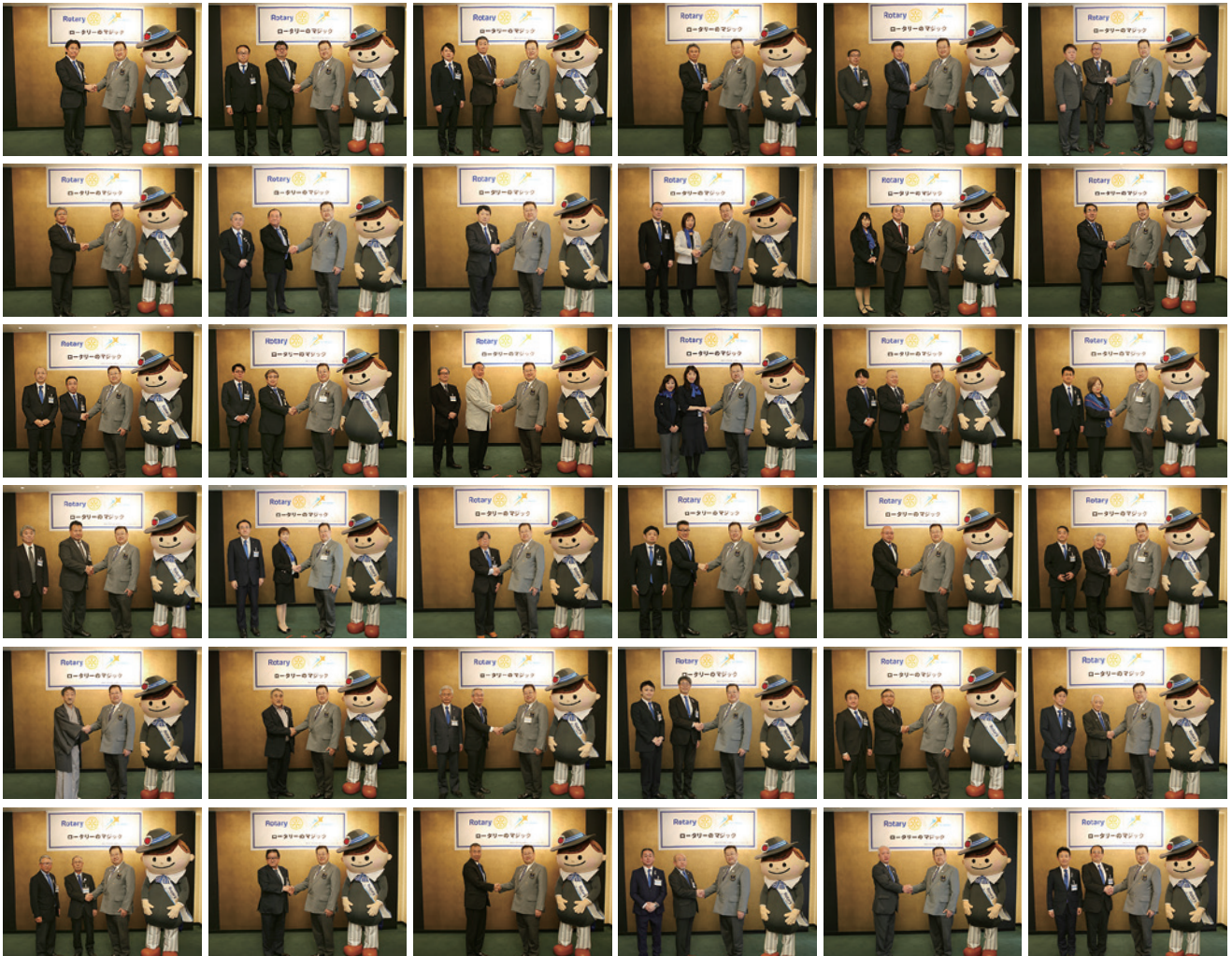
五所川原RC

PETS 2日目のセッションに都合により参加できなかった会長エレクトの方に対しては、4月12日、花田ガバナーエレクトとガバナー補佐により、オンラインでのセッションを実施しました。



## 〈記念撮影〉

花田ガバナーエレクト、ロータくん地区内各クラブの会長エレクト、幹事エレクトの皆さんと記念写真を撮影しました。



## 会長エレクト研修セミナー 出席者名募

役 職 等	参加者氏名	所属クラブ名
ロータリー公共イメージコーディネーター補佐	田 中 久 夫	高 崎
田中久夫様パートナー	田 中 和 美	高 崎
クラブ・地区支援室 シニアコーディネーター	尾 畑 知 洋	R I 日 本 事 務 局
ガバナー・2024-25年度会員増強部門副アドバイザー	築 舘 智 大	八 戸
パストガバナー	島 村 吉三久	五所川原イヴニング
2024-25年度地区ラーニングファシリテーター	山 崎 淳 一	五 所 川 原
2024-25年度国際奉仕・青少年奉仕部門副アドバイザー	村 井 達	八 戸
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕部門副アドバイザー	小山内 康 晴	弘 前
2024-25年度会員増強部門アドバイザー	工 藤 武 重	弘 前 西
2024-25年度ロータリー財団部門アドバイザー	長 嶺 康 廣	八 戸 南
2024-25年度DEI推進部門アドバイザー	佐々木 千佳子	十 和 田
2024-25年度公共イメージ向上部門アドバイザー	今 井 高 志	弘 前
2024-25年度国際奉仕・青少年奉仕部門アドバイザー 副ラーニングファシリテーター	沼 田 廣	青 森
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕部門アドバイザー RLI地区代表ファシリテーター	源 新 和 彦	八 戸 北
2024-25年度ロータリー財団部門副アドバイザー	成 田 秀 治	五所川原イヴニング
2024-25年度米山記念奨学部門アドバイザー	田 中 常 浩	む つ
ガバナーエレクト	花 田 勝 彦	五 所 川 原
花田ガバナーエレクトパートナー	花 田 千 津	五 所 川 原
ガバナーノミニー・RLI委員長・RLIファシリテーター	米 谷 恵 司	青 森 モ ー ニ ン グ
2024-25年度東第1グループガバナー補佐	蛭 沢 公 洋	東 北
2024-25年度東第2グループガバナー補佐	佐々木 紀 仁	十 和 田 東
2024-25年度西第1グループガバナー補佐	小 田 桐 浩	五所川原イヴニング
2024-25年度西第2グループガバナー補佐	成 田 学	弘 前 ア ッ プ ル
2024-25年度中グループガバナー補佐	蝦 名 正 治	青 森 北 東
2024-25年度南グループガバナー補佐	島 浦 理	八 戸 西
2024-25年度クラブ拡大・会員増強委員長	吉 田 賢 治	八 戸 南
2024-25年度公共イメージ向上委員長	工 藤 孝 子	弘 前 東
2024-25年度社会奉仕・職業奉仕委員長	岩 岡 隆 雄	八 戸 東
2024-25年度ロータリー財団委員長	佐 藤 健 一	青 森
2024-25年度地区補助金委員長	西 尾 和 樹	八 戸 南
2024-25年度グローバル補助金委員長	須 藤 朗	野 辺 地
2024-25年度平和フェロシップ・奨学金・学友委員長	竹 島 直 樹	十 和 田 東
2024-25年度ポリオプラス委員長、ガバナーノミニーデジグネート	成 田 俊 介	弘 前 西
2024-25年度国際奉仕委員長・会長エレクト	柴 田 文 彦	む つ 中 央
2024-25年度青少年交換委員長	岡 山 信 広	六 ケ 所
2024-25年度インターアクト委員長・会長エレクト	松 山 隆 志	野 辺 地
2024-25年度ローターアクト委員長・RLIファシリテーター	竹 内 知 弘	弘 前 西
2024-25年度米山記念奨学委員長	佐 藤 一 尚	青 森
2024-25年度DEI推進委員長・RLIファシリテーター	源 新 育 子	八 戸 北
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員長	三 浦 真 介	弘 前
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員	欠 畑 茂 治	十 和 田 東

会長エレクト研修セミナー 出席者名募

役職等	参加者氏名	所属クラブ名
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員	最上 伸子	青森モーニング
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員・クラブ拡大・会員増強委員	石川 佳共子	青森
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員	西田 文仁	青森
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員	道尻 誠助	八戸
RLIファシリテーター・2024-25年度RLI委員	石橋 信雄	八戸
RLIファシリテーター・西第1グループガバナー補佐	高瀬 英人	五所川原
RLIファシリテーター・2024-25年度ロータリー財団委員	工藤 真人	青森
RLIファシリテーター・ポリオプラス委員長	森内 忠良	青森
RLIファシリテーター	須藤 一幸	青森モーニング

	クラブ名	役職	氏名	役職	氏名
東第1グループ	むつ	会長エレクト	小田桐 隆夫		
	野辺地	会長エレクト	松山 隆志	次期幹事	横濱 敬子
	七戸	会長エレクト	大黒 博	次期幹事	松林 和子
	東北	会長エレクト	蛭沢 達彦		
	むつ中央	会長エレクト	柴田 文彦	次期幹事	中村 昭芳
	六ヶ所	会長エレクト	種市 治雄	次期幹事	小田 優吾
東第2グループ	三沢	会長エレクト	阿部 勝		
	十和田	会長エレクト	漆畑 善文	次期幹事	上久保 聖一
	十和田東	会長エレクト	田中 幹志	次期幹事	照井 伸良
	おいらせ			次期幹事	杉山 茂夫
	三沢東	会長エレクト	田中正 吉	次期幹事	篠田 文隆
	十和田八甲	会長エレクト	羽賀 義広		
西第1グループ	五所川原	会長エレクト	寺田 明代	次期幹事	木村 康仁
	金木	会長エレクト	野呂 賢一	次期幹事	伊藤 真奈美
	鱈ヶ沢			次期幹事	加藤 隆之
	鶴田	会長エレクト	坂本 幸光	次期幹事	小関 優
	五所川原中央	会長エレクト	一井 定信	次期幹事	宮崎 敬也
	つがる	会長エレクト	今 淳一	次期幹事	嶋野 琢也
	五所川原イヴニング	会長エレクト	成田 和代	次期幹事	安田 美香子
西第2グループ	弘前	会長エレクト	河端 一秀	次期幹事	三上 信吾
	弘前東	会長エレクト	工藤 孝子	次期幹事	朝倉 和広
	板柳	会長エレクト	齊藤 直飛人	次期幹事	三上 忠男
	黒石	会長エレクト	渡辺 恵子	次期幹事	増川 博基
	大鰐	会長エレクト	佐藤 淳		
	弘前西	会長エレクト	樋川 新一	次期幹事	草刈 保昌
	平賀・尾上	会長エレクト	齋藤 憲法		
	弘前アップル	会長エレクト	八木橋 宣之		
中グループ	青森	会長エレクト	小林 俊一	次期幹事	大中大 輔
	青森北東	会長エレクト	本間 義悦		
	青森中央	会長エレクト	原 三郎		
	青森モーニング	会長エレクト	橘 正弘	次期幹事	坂井 哲博

## 会長エレクト研修セミナー 出席者名募

	クラブ名	役職	氏名	役職	氏名
南グループ	八 戸	会長エレクト	橋本 八右衛門	次期幹事	小田山 紀 暢
	八 戸 東	会長エレクト	佐 藤 晃	次期幹事	榎 一 郎
	三 戸	会長エレクト	坂 本 勝 克	次期幹事	矢 村 英一郎
	五 戸	会長エレクト	中 里 正 廣	次期幹事	豊 田 孝 夫
	南 部	会長エレクト	夏 堀 剛 充	次期幹事	島 口 英 知
				次期幹事代理	松 本 保 築
	八 戸 北	会長エレクト	千 葉 哲 也		
	八 戸 南	会長エレクト	慶 徳 拓 也	次期幹事	出 貝 友 吾
	八 戸 中 央	会長エレクト	山 村 益 広	次期幹事	佐 藤 泰 治
	八 戸 西	会長エレクト	大 嶋 泰 雅	次期幹事	蛇 口 和 憲

### 〔スタッフ〕

役職等	参加者氏名	所属クラブ名
2024-25年度ロータリーの友地区代表委員	木 下 一 志	五 所 川 原
2024-25年度地区財務委員長・次期幹事	木 村 康 仁	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事長	木 村 重 介	五 所 川 原
2024-25年度地区副幹事長	今 広 樹	五 所 川 原
2024-25年度地区副幹事長・PETS実行委員長	平 山 敦 士	五 所 川 原
2024-25年度地区副幹事長	敦 賀 鉄 正	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事・PETS副実行委員長	浅 利 壽 信	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	阿 部 哲 也	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事・会長エレクト	寺 田 明 代	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	太 田 康 成	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	今 直 樹	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	佐 藤 昭 義	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	野 上 友 明	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	中 山 佳	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	小笠原 崇 文	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	成 田 学 治	五 所 川 原
2024-25年度地区幹事	清 野 悟	つ が る
PETS実行委員・地区ホームページ担当	近 藤 陽 介	五 所 川 原
PETS実行委員・2024-25年度DEI推進委員	増 田 卓 也	五 所 川 原
PETS実行委員・2024-25年度ローターアクト委員	川 浪 剛 功	五 所 川 原
PETS実行委員	角 田 浩 志	五 所 川 原
PETS実行委員	赤 石 剛	五 所 川 原
PETS実行委員	平 山 洋 志	五 所 川 原
PETS実行委員	丸海老 隆	五 所 川 原
PETS実行委員	佐々木 文 人	五 所 川 原
PETS実行委員	島 村 寿 子	五 所 川 原
PETS実行委員	安 田 義 宏	五 所 川 原
オブザーバー・2024-25年度平和フェロシップ・奨学金・学友委員	本 堂 きみゑ	青 森 モ ー ニ ン グ
事務局	浅 利 育 子	地 区 事 務 所

Rotary  
District 2830

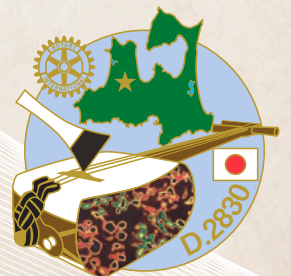


# DTA

地区研修・協議会報告

と き 2024年5月18日(土)

ところ 五所川原市ふるさと交流  
圏民センターオルテンシア  
プラザマリュウ五所川原



2024年5月18日(土)

地区研修・協議会		会場・オルテンシア小ホール	
12:00	登録受付		
13:00	〈第一部〉本会議① 開会点鐘・招集挨拶 国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱 ガバナー挨拶	司会進行 ガバナーエレクト ガバナー	島村 寿子 花田 勝彦 築館 智大
13:20	R I 会長テーマと地区運営方針	ガバナーエレクト	花田 勝彦
14:00	休憩(大阪万博第2660地区PR動画放映)		
14:10	基調講演 「今こそクラブ奉仕を！」	RI第2800地区 パストガバナー	鈴木 一作
15:10	休憩		
15:20	〈第二部〉部門別研修会 テーマ①「クラブ戦略計画の策定」 テーマ②「公共イメージの向上」 テーマ③「世界で良いことをしよう」 テーマ④「日本と世界を結ぶ懸け橋であれ」 テーマ⑤「会員増強を目指して」 その他の部門まとめ	地区ラーニングファシリテーター 公共イメージ向上委員会 次期委員長 ロータリー財団委員会 次期委員長 ロータリー米山記念奨学会 理事 次期地区ラーニングファシリテーター 次期地区ラーニングファシリテーター	源新 和彦 工藤 孝子 佐藤 健一 沼田 廣 山崎 淳一 山崎 淳一
16:20	休憩		
16:30	〈第三部〉本会議② 地区役員の紹介と各クラブへのお願い (ガバナー補佐・各委員会委員長)	次期地区幹事長	木村 重介
17:10	地区資金規定と要綱等の審議採決	ガバナーエレクト	花田 勝彦
17:15	講評  ガバナー引継ぎ・バッジ伝達	ガバナー ガバナー ガバナーエレクト	築館 智大 築館 智大 花田 勝彦
17:25	お礼の言葉	ガバナーエレクト	花田 勝彦
17:35	点鐘		

～ オルテンシアからプラザマリユウへ移動 ～

懇親会		会場・プラザマリユウ五所川原	
18:00	懇親会 開会 ガバナー挨拶 記念品の贈呈  乾杯 アトラクション「浅井獅子(鹿)踊」 次期地区委員会(財団部門、国際奉仕部門)からのお知らせ 新入会員からの感想 地区大会のご案内	司会進行 ホストクラブ会長 ガバナー RI2800 地区パストガバナー ガバナーエレクト パストガバナー  地区大会実行委員長	赤石 剛 敦賀 鉄正 築館 智大 鈴木 一作 花田 勝彦 笹森 剛 浅井獅子踊保存会 敦賀 鉄正
19:30	中締め ロータリーソング「手に手つないで」 閉会	ガバナーノミニー	米谷 恵司

## 開会点鐘、招集挨拶

ガバナーエレクト

## 花田 勝彦

五所川原RC

皆さんこんにちは。天候に恵まれ、爽やかな日になりました。ようこそ五所川原へお越し下さいました。

本会議202名、懇親会172名のご登録をいただきました。

地区研修協議会は、国際ロータリーや地区の年度目標を確認しあい、活発な活動に繋げるためのプログラムです。

今年度のDTAは「ロータリーの基本」を学ぶ機会を提供するプログラムと位置付けて、たくさんのお新入会員の皆様にご登録いただきました。

基調講演は第2800地区山形のバストガバナーで、当地区山崎バストガバナーと同時期にRI研修リーダーでもあった鈴木一作先生においでいただきました。

鈴木先生、ありがとうございます。

鈴木先生はガイ・ガンディカー研究の第一人者としても知られており、2022年ロータリーの友に「ガイ散策」という漫画のコーナーがあったのを覚えている方も多いかと思います。あのコーナーのコラムを担当された方です。日本中の地区でロータリーの本質的なことを講演されています。

最も呼ばれているロータリアンです。今日は「今こそクラブ奉仕を！」と題して、ロータリーの基本を理解するために大変興味深いお話が聞けるものと楽しみにしております。

また、今日はゲストとして、地区大会での講演を予定しております曹洞宗の南米における布教の責任者であり、ここ五所川原の曹洞宗長円寺の副住職である清野暢邦さんにもお越しいただいております。普段はサンパウロにいますが、たまたま帰省しており、お越しいただいたものです。懇親会までお付き合いいただけるといことですので、ぜひ沢山の方とお話できればと思います。

さて、今日の地区研修協議会ですが、前半はRI会長テーマと地区運営方針をお話させていただき、鈴木先生の基調講演、後半は部門別研修会として、5名のバストガバナー、地区委員長の皆さんから、

クラブ戦略計画、会員増強、公共イメージ、財団、米山をテーマに、ロータリーの基本を学ぶ1テーマ10分から15分というコンパクトな講演を行います。従来はここで分科会を行っていましたが、新しい試みですので、楽しみにしていただければと思います。

その後はガバナー補佐、地区委員長のご紹介とご案内と続きます。

あとは本日の配布資料として「地区要覧」を配布しております。後ほど少し内容的な部分に触れられればと思っておりますほか、地区資金規定と要綱については、従前の規定を整理致しましたので、後ほど出席された会長エレクトの採決をいただきたいと考えております。

そして、本会議終了後には場所を移して懇親会も行います。能登地震の支援金を受付に箱を設置しておりますので、懇親会に出られない方は、受付の箱に支援金のご協力をお願い致します。2610地区ガバナーエレクトのビデオメッセージをいただいております。のちほど放映いたします。

実行委員会一同、一生懸命準備して参りました。本当にありがとうございます。そして、今日ご出席の皆様にとって、実りある1日になりますよう最後までよろしくお願い致します。

それでは、2024-25年度 地区研修協議会を開催いたします。



## ガバナー挨拶

ガバナー

## 築館 智大

八戸RC

本日、花田年度の三大研修の最後となる地区研修・協議会(DTA)に、このようにお天気の良い中、皆

様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。  
花田ガバナーエレクトの地区運営方針を、DTTS(地区チーム研修セミナー)、PETS(次期会長・幹事研修セミナー)、そして本日のDTAと、複数回にわたりお聞きになる方もいらっしゃるかと思いますが、ぜひその方針を皆様の心にしっかりと刻みつけていただきたいと思います。花田年度が成功裏に終わるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

また、以前の研修会でもお願いいたしましたとおり、ロータリー活動は単年度制ではありますが、クラブの円滑な運営と活動の発展のためには、必ず現年度と次年度でのしっかりとした引継ぎを行ってくださいますようお願いいたします。この引継ぎこそが、次年度の素晴らしいロータリー活動へと繋がる大切な一歩だと信じております。

それでは、本日一日という短い時間ではございますが、実りの多い研修となるよう、皆様と共に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## RI会長テーマと地区運営方針

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC



### 1. 冒頭挨拶および資料配布について

ガバナーエレクト(GE)の花田より、DTTS、PETSに続く研修へのご出席に心より感謝申し上げます。

ます。

本日ご出席の皆様には、2024-25年度の地区バッジを配布いたしました。このバッジは、青森県、津軽三味線、津軽塗をモチーフとし、五所川原の位置を示す星印が入ったオリジナルです。また、女性会員の方にはテーマスカーフを、新入会員の方にはロータリーの基本情報をまとめた冊子「ロータリーの基本情報」をお配りしております。ぜひご活用ください。

### 2. 国際協議会(International Assembly)の報告

花田GEは、2024年1月にアメリカのオーランドで開催されました国際協議会に参加いたしました。

- \* **参加と内容**：世界中から520名のGEとそのパートナーが集まり、4日間にわたり7回の本会議や分科会が行われました。テーマはすべてロータリーの行動計画(アクションプラン)に結びついて設定されています。
- \* **分科会**：RLI方式で行われ、10~15名の小グループに分かれて活発な発言が求められました。
- \* **交流**：晩餐会や文化交流会を通じて、ステファニー・アーチック次期RI会長エレクトをはじめ、多くの著名なロータリアンと交流する貴重な機会となりました。

### 3. ステファニー・A・アーチック次期RI会長エレクトのテーマ講演

RI会長エレクトのテーマは「The Magic of Rotary(ロータリーのマジック)」です。講演から花田GEが受けた主な要点は以下のとおりです。

- \* **行動計画と奉仕の重視**：ポリオ根絶や会員増強、平和推進などの内容とともに、クラブでの奉仕活動を重視する姿勢が示されました。
- \* **平和構築の手段としての「四つのテスト」**
- \* **内面の平和と他者への思いやり**：自分自身の内面の平和から、他者への思いやりのある行動へ繋げるという点が強調されました。
- \* **DEI+Belonging(帰属意識)**：DEI(多様性、公平性、インクルージョン)に加え、帰属意識の重要性も示されました。
- \* **継続性の意識**：ガバナー年度を超えた活動の継続性が重要であると述べられました。
- \* **テーマカラー**：オレンジ(継続性)とブルー(信頼、知性)です。
- \* **「マジック」の真意**：魔法のような出来事ではなく、ロータリー活動を通じて得られる素晴らしい

しい経験が「マジック」であると明確にされました。

また、アーチック会長エレクトは、以下の3点を優先事項として挙げています。

1. 会員増強を図る行動計画の推進(具体的目標：1 地区100名増強、4つの新クラブ設立など)
2. 積極的平和を通じて分断された世界を癒す(「四つのテスト」の実践、ピース・ポール・プロジェクトなど)
3. 継続性(リーダー間の協力、クラブの奉仕活動の継続)

#### 4. 地区スローガンと重点課題

##### 地区スローガン

次期RIテーマを受けて、地区スローガンは「個性輝くロータリー」といたしました。

このスローガンは、一人ひとりが個性を發揮し、他者の気持ちを尊重して活動することで、仲間が増え、地域社会の発展、ひいては世界平和の実現に繋がるとの信念に基づいております。

##### 重点課題(緊急事態宣言)

地区の最重要課題として、2026年7月1日時点での会員数1100名達成を「緊急事態宣言」として掲げます。

- \* 危機意識：2026年7月1日に1100名を達成できない場合、隣接地区との合併が正式に決定されております。過去3年間連続で年度初めの会員数が1100名を下回っている現状を真摯に受け止め、全ロータリアンで目標クリアに向けて本気で取り組みます。
- \* 行動の柱：
  - 本来目指すべきは、魅力あるクラブ作りです。多くの多様性のある参加者を集い、居心地の良いクラブを育てることが最も大切です。
  - 会員増強の具体的な目標を立て、クラブセントラルへの入力を継続して行うよう、会長エレクトの皆様をお願いいたします。
  - 活動に自信を持ち、新しい仲間積極的に声をかけましょう。

#### 5つの重点項目

1. ロータリーの行動計画を理解し推進しよう
  - 「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な係わ

りを促す」「適応力を高める」の4つのアクションプランを実践します。

2. 参加し交流し行動する事でロータリーを楽しもう
  - ロータリーの真髄である「親睦」と「奉仕」を実践するため、まず参加し、交流し、行動することでロータリーを楽しみます。
3. 「DEI+Belonging」を推進しよう
  - DEIを理解し、クラブで話し合い、行動に移します。今年度から設置したDEI委員会がクラブの活動をバックアップいたします。
4. クラブの体験を魅力的なものにしよう
  - 身近なクラブでの体験が楽しいものでなければ活動は続きません。他のクラブの事例も参考に、奉仕活動の幅を広げることを奨励します。
5. 奉仕活動の継続性を意識しよう
  - 単年度で終わらず、年度を超えた継続性を持たせることで「インパクト」(長期的な変化)に繋がります。
  - RIはクラブに対し3年ごとの目標設定(3-year Rolling Target)を強く奨励しており、今後クラブセントラルでも3年計画の入力が必要になる見通しです。
  - 地区として戦略計画委員会を設置し、クラブの3年計画を支援・フォローいたします。

#### 5. 結び

私自身の経験と学びから、「個性輝くロータリー」というスローガンを掲げました。これは、自分だけでなく、他の人も輝いてほしいという強い思いを表しています。

国際協議会で世界の仲間と繋がれたように、ロータリーは世界で活動しているのだということを強く意識しております。地区内のロータリアンの皆様には、この研修で何か一つでも良いものを持って帰っていただき、ロータリーに参加して得た体験を、積極的に発信していただきたいと願っております。

会長エレクト、地区リーダー、新入会員の皆様と力を合わせ、充実した一年を築いてまいりたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

# 大阪万博第2660地区PR動画放映

**Rotary**  
District2660 

2025年日本国際博覧会～いのち輝く未来社会のデザイン～

**開催** 2025年4月13日(日) ～10月13日(月)

**場所** 大阪 夢洲 (ゆめしま)

 MEET ME AT  
EXPO 2025!

<b>1.ロータリー万博開幕祭</b> 	<b>2.ロータリーEXPOフェスタ1~6組</b> 
<b>3.フェロシップ拡大例会・エクスカーション</b> フェロシップ拡大例会 エクスカーション 万博会期(2025年4月-10月)前後 <b>随時開催</b> 	<b>4.OSAKA ええもん MAP</b>  飲食店や観光施設等



## 基調講演

### 「今こそクラブ奉仕を！」


国際ロータリー第2800地区  
パストガバナー

鈴木 一作



寒河江RC



### 1. ロータリーにおける「成長」と「楽しさ」の重要性



**今こそクラブ奉仕を！**

RI 第2800地区ガバナー (2017-18)  
RI 研修リーダー (2019-20)  
鈴木 一作 (山形県：寒河江RC)

山形県第2800地区寒河江ロータリークラブの鈴木一作氏より、「今こそクラブ奉仕を！」をテーマに基調講演が行われました。

講演者は、自身のロータリー経験において、2830地区鐘ヶ江パストガバナーの講演から、クラブ運営の重要性に気づかされた経験を紹介しました。また、RI研修リーダーを一緒に担当した山崎パストガバナーから「Grow Rotary(ロータリーの成長)も大事だが、その前にGrow Rotarians(ロータリアンの成長)と、Enjoy Rotary(ロータリーを楽しむ)が大切だ」という言葉を受け、クラブ奉仕の重要性を確信したといいます。

### 2. 会員減少の現状と課題

世界のロータリー会員数は約120万人で推移していますが、毎年入会者数と同数、あるいはそれ以上



## 穴のあいた バケツに 水を注ぐ？

退会理由

ロータリーに魅力や価値を見出せない？  
ロータリーが楽しくない、失望した？

の退会者が出ています。特に退会者の約70%は入会5年以内の会員であり、ロータリーに魅力や価値を見出せず、楽しくないと感じている会員が少なくないことが指摘されました。

これは「穴の開いたバケツに水を注いでいる」図式であり、RIは例会回数の緩和や入会資格の緩和など「水を注ぐ」対策を打ち出していますが、根本的な解決のためには、「穴を塞ぐ」、すなわち会員のロータリーに対する魅力、価値、喜び、誇り、そして帰属意識を高めることが必要です。この解決策こそが、クラブ奉仕の充実であり、「Grow Rotarians」と「Enjoy Rotary」の精神を体現することに繋がります。

### 3. クラブ奉仕の定義と本質

**A Talking Knowledge of Rotary (1916年)**  
(ロータリーのクラブ運営のテキスト)



**1923-24年度 RI 会長  
Guy Gundaker**

- \* クラブ会員が、クラブに対して果たす**義務**
- \* クラブが、クラブ会員に対して果たす**責務**

*Each Individual Rotarian has a duty to the particular club of which he is a Member; each club has a responsibility toward the men who compose its membership.*

~ 1931年 The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3) ~

クラブ奉仕の定義については、標準ロータリークラブ定款とマイロータリーの説明に「会員が奉仕する」と「クラブ(リーダー)が奉仕する」という主語の矛盾があることが指摘されました。

講演者が歴史を調査した結果、1927年のクラブ奉仕の本来の定義は、以下の共同作業であると結論付けられました。

- \* クラブ会員の義務 (Each Individual Rotarian has a duty)
- \* クラブ(リーダー) の責務 (each club has a responsibility)

そして、当時のクラブ運営テキスト(『A Talking Knowledge of Rotary』)によると、クラブ奉仕の目的は、「クラブ会員がクラブ内でロータリアンとして成長発展すること」(会員の義務)と、「クラブが会員の成長発展を奨励し、援助すること」(クラブの責務)であると明確にされています。

## クラブ奉仕とは？

- ① 主語：会員 → クラブに奉仕？
- ② 主語：クラブ → 会員に奉仕？  
(クラブ・リーダー) **クラブ運営**



**本来、①② ともに正しい！**



**いや、①②の両方から始まった！**

### 4. ロータリーの本質と会員の義務

ロータリーの創始期(約100年前)のロータリー観は、ロータリアンの人間性の向上がトップにあり、その究極の目的は「素晴らしい真のロータリアンを育て、支援し、増やすこと」でした。「育て、支援し」は、花田ガバナークラブの言う「魅力あるクラブ作り」に相当します。

ロータリーの本質は、会員自身、事業、業界、社会全体を「向上(Betterment)」させることにあり、親睦と学びの場である例会がこれを支えるのです。

## ロータリークラブの姿



**ロータリーの本質は、  
今も昔も変わらない！**

**ロータリーの本質は、会員自身を、家庭を、  
クラブを、事業を、業界を、そして社会全体  
を 向上(Betterment) させることである。**

## ロータリーの親睦 (fellowship)



「ロータリーの親睦」とは、  
ロータリーという苗木が成長する為に、  
その根に栄養を与える **土壌** である。



「ロータリーの親睦」の目的は、  
**ロータリーの成長・発展 (Grow Rotary)**

**栄養ある土壌 → 親睦と学びが一体であること**

### ロータリアンの義務

## ロータリアンの義務

1. **クラブ会員としてのロータリアンの務め**
2. **職業人としてのロータリアンの務め**
  - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
  - ② 業界人としてのロータリアンの務め
3. **地域住民としてのロータリアンの務め**



**これらの務めを果たす証が、  
ロータリーのバッジ**

**いつでも どこでも、ロータリアン！**

クラブ会員としての義務は、「例会に出席し、自分を磨き、仲間を磨き、クラブを磨く」ことです。これはRIの行動計画(インパクト、基盤を広げる、かわりを促す、適応力を高める)の本質的な目的でもあります。

また、ポール・ハリスが述べた「Toleration(寛容・忍耐)」の精神が、多様な人材が集まり、相互に機能する組織運営、すなわち現代のDEI(多様性、公平性、インクルージョン)の土台であると強調されました。ロータリーには排除の論理はなく、理不尽さや欠点を寛容し合い、上手くやっていくことが不可欠です。

### 5. クラブ(リーダー)の責務と「魅力あるクラブづくり」

クラブ・リーダーの責務は、「会員の成長発展を奨励し、援助しなければならない」の一点に尽き、花田GEの言葉で言えば「魅力あるクラブづくり」です。具体的には、以下の5点が重要です。

1. 魅力的で価値ある例会の提供：会員同士が交

## 心が洗われる会長挨拶

**会長挨拶**は、会長だけの**特権**です。しかも、会長が**唯一の実行者**であり、かつ**唯一の責任者**です。

**命を削る思いで準備**に取り組み、毎週、**ロータリーの素晴らしさ、ロータリアンの喜びと矜持**について語って欲しい。

- ・「今日の会長挨拶は、心が洗われたよ」
- ・「私は、ロータリーに入って良かった」

流し、敬愛の念を深め、奉仕の心を高め合う場を提供します。「親睦、学び、成長」を主体とした運営が必要です。

- 特に、「心が洗われる会長挨拶」は、会員の士気を高め、会長への信頼と敬愛を醸成し、クラブの活性化と一体感をもたらす最大の武器です。
- 2. 魅力的で価値ある奉仕プロジェクト：全員が知恵と汗を出し、クラブの一体感と達成感、貢献度の高い奉仕を目指します。「活動参加型」のプロジェクトが推奨されます。
- 3. クラブの一体感と居心地の良さの確保：例会がホッとする場、憩いの場となるよう配慮し、新入会員やゲストが疎外感を感じないように、積極的に交流を促すことが大切です。

4. **クラブ・リーダーの矜持**：会長はクラブの代表として、幹事は実務責任者として、他の役員は会長・幹事の支援者として、それぞれの役割に覚悟と情熱をもって取り組みます。

5. **実効性のあるクラブ理事会の運営**：前年度踏襲から脱却し、年度テーマや目標が反映された例会スケジュールを検討すること。また、「山本五十六」の精神で、部下ではない会員・理事に対し、信頼と敬愛をもって接し、「自分磨き」のチャンスとしてクラブ運営に取り組みます。

## 6. まとめ

クラブ奉仕は、クラブ会員の義務とクラブ(リーダー)の責務の共同作業であり、ロータリーの根幹です。

ロータリーは、選ばれた多様なリーダーが集い、「親睦、学び、成長」を基盤に、立派なロータリアンを育てながら、価値ある奉仕を通じて社会に貢献する世界的な団体です。

ロータリアンがロータリーを続けるのは、異業種間の「親睦の喜び」、自己や事業の「学ぶ喜び」、社会への「奉仕の喜び」があるからです。この根本にあるのは、「Grow Rotarians」と「Enjoy Rotary」であり、これが会員増強にも繋がります。我々は、この根本を忘れず、誠実なロータリアンであることを目指す必要があります。



## 部門別研修会

### テーマ① 「クラブ戦略計画の策定」

地区ラーニング  
ファシリテーター

**源 新 和 彦**

八戸北RC



#### 計画策定の必要性と推進体制

国際ロータリー(RI)は、次年度以降、クラブの目標設定が単年度から3年ごとに変更されることを決定しており、これに伴い「クラブ戦略計画の策定を推進する」という姿勢に変わりました。クラブが目標達成、ひいては良いクラブへと成長するためには、単に数字を埋めるだけでなく、具体的な戦略計画が不可欠です。

計画策定にあたっては、以下の体制が推奨されます。

1. 戦略計画立案チームの編成：元・現・次期クラブリーダーが中心となり、目標達成を支える3年間の計画を策定します。
2. 進行役の選任：会長などのリーダーを担っていない会員に進行役を務めてもらい、客観的な立場からクラブの将来を見据えた意見を集約することが望ましいです。
3. 多様な会員の参加：多様な経験や専門知識を持つ会員に参加してもらい、より多くの可能性を見出すことができますようにします。
4. ビジョンの反映：RIのビジョン声明と行動計画を反映させたクラブ独自のビジョンを作成することが重要です。
5. 目標設定：地区およびRIの戦略計画に沿った3～5年で達成可能なクラブ目標を立てます。

#### 策定の4段階

具体的な計画策定は以下の4段階で進めます。

1. 現状分析：

- 客観的な現状把握：「クラブの健康チェック」や「ロータリークラブ自己評価表」を活用し、クラブの長所と短所を把握します。
- 会員の満足度とニーズ：「会員満足度調査」を実施し、会員の意見を客観的に収集します。
- 地域社会の調査：奉仕活動のインパクトを高めるため、地域社会の機会や課題、ニーズを特定します。

#### 2. ビジョンの作成：

- ビジョンの特徴：クラブが3～5年以内に実現したい特徴を5～7つ挙げます。
- ビジョン声明の策定：クラブの成功がどのような形で現れるかを示すビジョン声明を作成します。

#### 3. 計画の作成：

- 戦略的優先事項の設定：RIのビジョン、クラブの長所・短所、地区目標、会員意見などを考慮し、3～5年以内に達成できる優先事項を定めます。
- 年次目標の計画：優先事項を達成するための具体的な年次目標を計画します。

#### 4. 進捗状況の確認と調整：

- 定期的な確認：3～5年の計画期間中、四半期または半期に一度など定期的に進捗を確認します。
- 行動計画の見直し：未達成の目標について原因を分析し、達成に向けた行動計画の見直し・調整を行います。

### テーマ② 「公共イメージの向上」

次期公共イメージ向上委員長

**工 藤 孝 子**

弘前東RC



#### 公共イメージの現状と必要性

一般市民を対象とした調査によると、「ロータリークラブ」について「名前だけ知っている」という人が大多数を占め、「活動内容も知っている」という詳細認知の割合は非常に低いことがわかります。ま

た、ロータリーのイメージとしては「年齢層が高い」「裕福な人が所属している」といった認識が上位を占めており、ポリオ根絶活動などの主要な奉仕活動の認知度は極めて低いのが現状です。

公共イメージを向上させることは、ロータリーへの信頼と参加への関心を高め、ひいては会員増強に繋がります。会員が増えることで、よりインパクトの強い奉仕活動が可能となり、クラブの維持・活性化へと好循環を生み出します。

### 公共イメージ向上のための2つの実践

公共イメージを向上させるためには、私たちロータリアン自身が「外からの目線」(アウター目線)を持つことが重要です。

1. ロータリーブランド・ロゴの適正利用(活動とロゴのセット発信)
  - 私たちは多くの「良いこと」をしていますが、それだけでは市民の心に残りません。
  - 奉仕活動を行う際には、寄付や寄贈品にロータリーのロゴ、クラブ名、地区名を必ず明記するなど、良いこと・名前・ロゴをセットでアピールする工夫が必要です。
  - 活動時にロゴ入りのTシャツなどを着用することも、ロータリーの活動を視覚的に伝える有効な手段となります。
2. DEIを意識した魅力ある組織づくり(ロータリアン自身が広告塔)
  - ロータリアン一人ひとりがロータリーのアンバサダー(広告塔)であるという自覚を持つことが大切です。
  - 世間が抱く「閉ざされた集まり」というイメージを払拭し、様々な年齢層、参加形態、多様性があること、そして、どんな人でも志が一緒であれば参加できるというDEI(多様性、公平性、インクルージョン)で開かれた真のロータリーの姿を積極的に広めていきましょう。



### テーマ③ 「世界で良いことをしよう」

次期ロータリー財団委員長

佐藤 健一

青森RC



### 財団活動の全体像と資金の流れ

ロータリー財団は、寄付金を集め、ポリオ根絶活動、グローバル補助金による大規模事業、奨学金、地区補助金による地域奉仕活動、災害支援など、世界規模で良いことを行うための資金を担う組織です。

2022-23年度の世界合計の寄付金は約3億6,650万ドルに達し、その用途はポリオプラスに約46%、グローバル補助金に約16%が充てられています。プログラムへの支出総額は全体の約81%という高い割合を占めています。

日本のロータリーでは、年次基金(一人150ドル)とポリオプラス(一人30ドル)の寄付目標が設定されています。各クラブは、財団の資金がどのように集められ、どのように活用されているかを会員に説明し、「ゼロ・クラブ」(年次基金または恒久基金への寄付がないクラブ)をゼロにすることを目指します。

### ポリオ根絶活動の現状

ポリオ根絶活動は1988年に世界125カ国で年間35万件の発症が見られた状況から、2023年にはアフガニスタンとパキスタンの2カ国のみで野生種による発症が確認されるまでに進展しました。

根絶は最終段階にあります。ここで手を緩めればポリオが再爆発する危険性があるため、「ここぞというところで踏ん張っている」状況です。ロータリーは毎年5,000万ドルの拠出を目指し、ビル・ゲイツ財団からの2倍の支援と合わせて、年間1億5,000万ドル規模で活動を続けています。

ポリオプラスの資金は、ワクチンの購入だけでなく、ワクチン接種意識向上のためのキャンペーンにも大きな割合が使われており、当地区でも街頭募金やワクチン投与活動への支援が行われています。

テーマ④ 「日本と世界を結ぶ懸け橋であれ」

ロータリー米山記念奨学会  
理事

**沼田 廣**

青森RC



テーマ⑤ 「会員増強を目指して」

次期地区ラーニング  
ファシリテーター

**山崎 淳一**

五所川原RC



米山記念奨学会の特色と目的

ロータリー米山記念奨学会事業は、日本のロータリーが独自に行う公益財団法人事業であり、日本で学ぶ外国人留学生を支援することで国際平和の懸け橋となることを目的としています。

奨学会の大きな特色は、世話クラブとカウンセラー制度です。奨学生は世話クラブに所属し、カウンセラーの指導のもと、月に一度例会に出席することが原則とされています。奨学金は大学生で月10万円、大学院生で月14万円が支給されます。

米山奨学事業は1952年に開始され、今年で72年目を迎え、累計で23,000人を超える奨学生が支援されています。出身国は中国、ベトナム、韓国などのアジア圏の学生が多くを占めています。

寄付金の状況と学友会

米山記念奨学会は公益財団法人であるため、収入と支出が同額になる収支相償の考え方に基づいて運営されています。寄付金は、クラブからの普通寄付金(当地区では最低3,000円を推奨)と、個人や法人からの特別寄付金によって賄われています。

巣立った米山奨学生は、帰国後も各国で米山学友会を組織し、活動を続けています。学友の中には、ロータリアンになる者や、台湾・韓国のように自国へ留学する日本人学生に奨学金を与える活動を行う者も出てきています。過去には、米山奨学生として支援を受けた方が、その感謝として奨学会に多額の寄付を行う事例もあります。

会員増強の緊急性と課題

当地区は、RI理事会により2026年7月1日の時点で会員数が1,100人に達していない場合、隣接地区との合併が決定するという緊急事態に直面しています。この目標達成が、地区存続のための重要な鍵となります。

会員増強を難しくしている背景には、毎年、入会者と同数の退会者が出ていること、特に新入会員の退会が多いという事実があります。これは、クラブの弱体化やロータリーの魅力低下を示唆しています。

会員増強への新たな視点

本来、会員増強は「元気なクラブづくり」の結果として実現するものであり、この本質に焦点を置くべきです。しかし緊急事態にある現状では、従来の会員制度に留まらず、新たな工夫も視野に入れる必要性が議論されています。

例えば、海外の事例や提案として、以下の方法が挙げられます。

- \* コンパニオンクラブ(奉仕プロジェクトのみに参加するクラブ)の設立。
- \* シニア会員制度(高齢会員の会費減額など)の導入。
- \* 家族会員制度(配偶者などを会員にし、奉仕活動への参加を促す)の検討。
- \* Web会員(オンライン例会への参加を主とする)の積極的な勧誘。

ロータリーの本質と成長

今日の研修会は「ロータリーの基本を学ぶ」ことを目的として開催されました。RIは現在、「トレーニングからラーニングへ」や「3-Year Target」といった新しいツールや情報を会員に提供していますが、これらは時代や環境の変化に対応するための「道

具」(マニュアル)と捉えるべきです。

ロータリーの本質や哲学は変わっていません。人間の成長が「学んで」「考えて」「人に伝えて」「実践する」の4つのステップで構成されるように、ロータリーもまた、「自分の頭で考え、自分の体で実践する」ことが最も重要です。

ロータリーの本質は、鈴木氏の言葉にもあったように「奉仕と親睦の積み重ね」です。この積み重ねこそが、次期RI会長テーマである「The Magic of

Rotary(ロータリーのマジック)」を生み出す源です。花田ガバナーエレクトが掲げるスローガン「個性輝くロータリー」は、一人ひとりのロータリアンの個性を輝かせ、その人生を豊かにするための実践を促すものです。クラブの主旨は、あくまでも一つひとつのクラブであり、一人ひとりのロータリアンであるという原点に立ち返り、全員で充実した一年を築いていくことが求められています。

## 地区役員のご紹介と 各クラブへのごお願い

〈進行〉  
次期地区幹事長

**木村 重介**

五所川原RC



次期東第2グループ  
ガバナー補佐

**佐々木 紀仁**

十和田東RC



当グループにおけるクラブセントラルの入力がまだない現状を受け、入力促進のためのクラブ訪問を行う方針を示されました。会員拡大などの計画を含めた入力をお願いするとともに、地区と連携してクラブをサポートしていく姿勢を強調されました。

## 各グループガバナー補佐

次年度に向けて、各グループのガバナー補佐および地区委員長より、力強い抱負と各クラブへの依頼事項が発表されました。

次期東第1グループ  
ガバナー補佐

**蛭沢 公洋**

東北RC



次期西第1グループ  
ガバナー補佐

**小田 桐 浩**

五所川原イヴニングRC



5月31日に次期会長幹事への説明会を予定しています。また、ご自身が所属する五所川原イヴニングRCにおいて、例会への参加しやすさと活性化を図るため、開始時間を夕方4時半から6時に変更する旨を報告されました。

3月のPETSで依頼のあったクラブセントラルへの入力が遅れている現状を報告されました。4月からのガバナーエレクト訪問に先立ち、6月には現ガバナー補佐とともに各クラブを訪問し、改めて入力のごお願いと説明を行う予定であると述べられました。

次期西第2グループ  
ガバナー補佐

**成田 学**

弘前アップルRC



個性豊かな8クラブを陰で支え、地区との橋渡し役を担う決意を述べられました。クラブ一丸となって目標に進むことが魅力アップと会員増強につながるとし、ご自身も各クラブへメイクアップに伺いたいと話されました。

次期中グループ  
ガバナー補佐

**蝦名 正治**

青森北東RC



すでにグループ内4クラブへの訪問を完了し、それぞれの個性を実感されたとのこと。RI会長および地区ガバナーのテーマにある「熱い思い」を各クラブと共有することを使命とし、会員増強にも力を入れたいと語られました。

次期南グループ  
ガバナー補佐

**島浦 理**

八戸西RC



創立8年目のクラブから初のAG選出となります。就任前に多くのクラブでメイクアップを行い、雰囲気をつかんだと報告されました。ガバナーとクラブをつなぐだけでなく、各クラブの良い点を他クラブへ伝えていく役割も果たしていきたいと抱負を述べられました。

## 地区委員長

次期ロータリーの友  
地区代表委員

**木下 一志**

五所川原RC



電子版(デジタル版)へのアクセス率が低い現状を指摘し、アーカイブの充実ぶりをアピールされました。新入会員の教育や退会防止にも役立つツールであるため、積極的な活用とクラブからの投稿をお願いしたいと呼びかけられました。

次期RLI委員長

**三浦 真介**

弘前RC



スケジュールの変更(RLIを5月、ファシリテーター研修を12月に移動)を報告されました。RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)の一般会員への認知度が低いため、まずは各例会を訪問して周知を図り、ファシリテーターの発掘にも努めたいと述べられました。

次期クラブ拡大  
増強委員長

**吉田 賢治**

八戸南RC



会員増強のポイントは「会長・幹事のやる気」と「新入会員が楽しいと思える雰囲気づくり」にあると強調されました。各グループの担当委員と連携し、クラブの活性化と会員増強に全力を尽くす決意を表明されました。

次期公共イメージ向上  
委員長

**工藤 孝子**

弘前東RC



奉仕活動の際は「ビジュアルアイデンティティ（お揃いのウェアやバッジ）」を活用し、ロータリーの活動を周囲にアピールしてほしいと要望されました。また、SNSの発信支援や、秋に予定しているエンドポリオ（津軽鉄道ジャック）への協力を依頼されました。



次期社会奉仕・職業奉仕  
委員長

**岩岡 隆雄**

八戸東RC



次年度も引き続き委員長を務められます。2025年1月に職業奉仕セミナーを計画しており、ロータリーアンとしての喜びを再確認し、退会防止にもつなげたいと意欲を語られました。

次期ロータリー財団  
委員長

**佐藤 健一**

青森RC



寄付が3年後に自分たちの活動資金として戻ってくる仕組みを各クラブで強調してほしいと述べられました。地区補助金による身近な事業や、グローバ

ル補助金を使った大きな事業へのチャレンジを呼びかけ、相談があれば知恵を出してサポートすると約束されました。

次期国際奉仕委員長

**柴田 文彦**

むつ中央RC



青少年奉仕委員会と連携して活動していく方針です。国際的な活動を行う際はぜひ委員会へ一報・相談してほしいと呼びかけ、「世のため人のために力を使いましょう」と熱く語られました。

米山記念奨学委員長  
(代読)

**野坂 幸子**

野辺地RC



次期委員長の佐藤一尚様（青森RC）に代わり、2点のお願いをされました。一つ目は普通寄付・特別寄付の継続的な協力、二つ目はクラブ計画に「米山奨学生の卓話」を組み込むことです。特にまだ呼んでいないクラブへ奨学生がお邪魔し、交流を深めたいと訴えられました。

次期DEI推進委員長

**源 新育子**

八戸北RC



花田年度に新設される委員会です。まずは現状把握のため6月10日締切のアンケートへの協力を依頼されました。DEI（多様性、公平性、包摂性）を「寛容」の心と捉え、誰もが居場所を感じられるインクルーシブな文化を築いていきたいと抱負を述べられました。

## 地区資金規定と 要綱等の審議採決

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC



### 【地区資金規程等の改正について】

本日ご出席いただきました22名の会長エレクトの皆様に対し、地区資金規程等の改正についてお話しいたしました。今回の改正は、規定の整備と実態に即した明文化が主たる目的であり、実質的な内容変更はございません。主な変更点は以下の通りです。

#### 1. 地区資金規程の整備

- \* 予算書との整合性：地区予算書の項目順と規程の順序が異なっていたため、予算書通りに整理・再編を行いました。
- \* 提出期限の明記(第4条(2))：従来ロータリー章典に含まれていた「予算を4週間前までにクラブへ提出する」という規定を、本規程に移行いたしました。
- \* 決算書作成期限の明文化(第4条(6))：地区財務委員長が年度終了後3ヶ月以内に決算書を作成するという、従来の慣例を規定として明確化いたしました。

#### 2. 地区運営資金要綱および会合旅費等要項の変更

- \* 地区運営資金要綱：資金規程同様、項目の順序を整理いたしました(金額の変更はなし)。
- \* 会合旅費等要項：PETS(会長エレクト研修セミナー)およびDTTS(地区チーム研修セミナー)の運用変更に伴い、ガバナー交通費の地区負担など、記述の修正を行いました。

以上の改正案について採決を行いましたところ、会長エレクト22名全員のご賛成をいただき、全会一致で承認されました。

### その他報告事項

審議事項に加え、以下の報告を行いました。

- \* 危機管理委員会規定：内容に変更がない旨を確認いたしました。
- \* 青少年保護方針：先日の山形での会議を受け、新たに「青少年保護方針」を策定・掲載いたしました。後日ご確認をお願い申し上げます。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 講 評

ガバナー

**築 館 智 大**

八戸RC



本日ご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

講師の鈴木一作様には、大変素晴らしいご講演をいただきました。

任期終了を目前に控え、一時は安堵の気持ちもありましたが、今日のお話にあった「Grow Rotary」という言葉に触れ、私自身もさらに精進せねばと思いを新たにいたしました。

今後、皆様が「居心地のよいクラブ」を築かれるのと同様に、地区としても風通しがよく、気軽に語り合える組織づくりに邁進してまいります。

最後になりますが、企画・運営を担っていただいたホストの五所川原ロータリークラブ様、コ・ホストクラブの皆様、そして公私ご多忙の折にご出席いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます、講評とさせていただきます。

## ガバナー引継ぎ バッジ伝達



築館ガバナーから花田ガバナーエレクトへガバナーバッジが引き継がれ、築館ガバナーへ記念品の贈呈がされました。

## お礼の言葉・点鐘

ガバナーエレクト

**花田 勝彦**

五所川原RC

皆様、本日は長時間にわたりお疲れ様でした。  
先ほどガバナーバッジを拝受し、いよいよ始まる新年度に向け、身が引き締まる思いです。7月のスタートまでの一ヶ月、万全の準備を整え、皆様と共に歩むための熱意をより一層高めてまいりたいと考えております。

本日の講師を務めていただいた鈴木先生、そして部門別研修で貴重なお話をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。時間が限られておりましたが、ここでの学びを次年度の活動に繋げていただければ幸いです。

公式訪問などで皆様と親しくお話できる機会を楽しみにしております。本日は誠にありがとうございました。これもちまして、地区研修・協議会を終了いたします。





鈴木一様へ記念品の贈呈



乾杯：笹森剛パストガバナー



アトラクション：浅井獅子(鹿)踊



新入会員からの感想



次期地区委員会から：財団部門



次期地区委員会から：国際奉仕部門



地区大会のご案内



中締め：米谷恵司ガバナーノミニ

## 来賓

国際ロータリー第2800地区パストガバナー 鈴木 一作(寒河江RC)  
パートナー 多津子

## ゲスト

曹洞宗南アメリカ国際布教総監 清野 暢邦

ガバナー	築館 智大				
ガバナーエレクト	花田 勝彦				
パストガバナー	関場 慶博 村井 達 佐々木千佳子	島村吉三久 小山内康晴 沼田 廣	笹森 剛 北山 輝夫 源新 和彦	鐘ヶ江義光 工藤 武重 成田 秀治	山崎 淳一 長嶺 康廣
	花田勝彦 パートナー	花田 千津	山崎淳一 パートナー	山崎田鶴子	
ガバナーノミニー	米谷 恵司				
ガバナーノミニーデジグネート	成田 俊介				
ガバナー補佐	蛭沢 公洋 島浦 理	佐々木紀仁	小田桐 浩	成田 学	蝦名 正治

## 東第1グループ

む つ RC	小田桐隆夫 菊池 祐一	竹内 崇高	白濱 憲一	峯 雅夫	佐藤 康
野 辺 地 RC	松山 隆志 柴崎 秀作	横濱 敬子 亀田 俊彦	須藤 朗	野坂 幸子	林 亨
七 戸 RC	松林 和子	千葉 和夫	米内山正義		
東 北 RC	蛭沢 公洋	蛭沢 達彦	工藤 智		
むつ中央 RC	柴田 文彦	中村 昭芳	高橋 正一	前川原 亨	
六ヶ所 RC	岡山 信広	小泉 陽大			

## 東第2グループ

三 沢 RC	阿部 勝				
十 和 田 RC	佐々木千佳子 樋口 隼也	漆畑 善文	山端 博	中渡 俊明	岩木 節子
十和田東 RC	佐々木紀仁 欠畑 茂治	田中 幹志 柿本 聡	照井 伸良	金沢 守昭	竹島 直樹
おいらせ RC	円子 徳通	杉山 茂夫	吉田 敏宏		
三 沢 東 RC	田中 正吉 宮野 楠見	篠田 文隆	花田 仁	浪岡 豊	蛭名佐知子
十和田八甲 RC	羽賀 義広	中岫 崇			

## 西第2グループ

弘 前 RC	笹森 剛 鈴木 直子	小山内康晴 鶴賀谷 貴	河端 一秀	三上 信吾	三浦 真介
弘 前 東 RC	工藤 孝子	朝倉 和広			
板 柳 RC	三上 忠男				
黒 石 RC	渡辺 恵子	増川 博基			
大 鰐 RC	佐藤 淳	船越 規孝			
弘 前 西 RC	工藤 武重 千葉 瑛子	成田 俊介 中畑 肇	草刈 保昌 蒔苗 俊二	竹内 知弘	佐藤玲恵子

地区研修・協議会 出席者名募

西第2グループ

弘前アップル RC 関場 慶博 成田 学 澁谷 明広

中グループ

青 森 RC 沼田 廣 小林 俊一 大中 大輔 磯 裕一郎 佐藤 健一  
 櫛引 大樹 三浦 基 森内 忠良 工藤 真人 伊藤 幸生  
 藤川 聡 白鳥 五大 石川佳共子 松山 栄一 山内 一喜

青森北東 RC 蝦名 正治 蒔苗亜希子

青森中央 RC 原 三郎

青森モーニング RC 米谷 恵司 橘 正弘 坂井 哲博 最上 伸子

南グループ

八 戸 RC 築館 智大 村井 達 橋本八右衛門 小田山紀暢 石橋 信雄  
 中村 稔彦 渡部 充

八 戸 東 RC 鐘ヶ江義光 榎 一郎 岩岡 隆雄 石橋 伸之 細越 寿一  
 林 克己 村田 頼信 西澤 英之 菊池 厳弘 角 英明  
 外館 友之 木村 元春

三 戸 RC 坂本 勝克 矢村英一郎 釜澤 英文 工藤 高明 工藤 光行  
 大野 誠

五 戸 RC 中里 政廣 江渡 恵一

南 部 RC 夏堀 剛充 島口 英知

八 戸 北 RC 北山 輝夫 源新 和彦 千葉 哲也 大崎 光明 源新 育子  
 川崎 益美 小野 晶子

八 戸 南 RC 長嶺 康廣 慶徳 拓也 出貝 友吾 吉田 賢治 西尾 和樹  
 大橋 央雅 伊藤 斉 櫻田 泰規

八戸中央 RC 山村 益広 佐藤 泰治 伊藤 圓子 長谷部美智子

八 戸 西 RC 島浦 理 大島 泰雅 蛇口 和憲

西第1グループ

金 木 RC 野呂 賢一 伊藤真奈美

鱒ヶ沢 RC 石岡 幸弘 加藤 隆之 成田 守男 吉田 諭大 小野 靖之

鶴 田 RC 坂本 幸光 小関 優

五所川原中央 RC 一井 定信 宮崎 敬也 寺田 政史 成田 英世 菊池 宏  
 高橋 美奈 宮越 順子 高木 邦男 小山内 修 木村 重孔  
 尾崎 淳一

つ がる RC 今 淳一 嶋野 琢也 佐藤 眞治 高井 孝治 鶴賀 善宏  
 坂本 憲彦 工藤 均 成田 弘志 清野 悟

五所川原イヴニング RC 島村吉三久 成田 秀治 小田桐 浩 成田 和代 安田美香子  
 長谷川裕紀 三戸 靖史 赤城麻依子 長利 礼治

五所川原 RC 花田 勝彦 山崎 淳一 寺田 明代 木村 康仁 近藤 陽介  
 木下 一志 木村 重介 寺田 和仁 今 広樹 平山 敦士  
 敦賀 鉄正 浅利 壽信 阿部 哲也 太田 康成 今 直樹  
 佐藤 昭義 野上 友明 中山 佳 小笠原崇文 成田 学治  
 清藤 繁光 高瀬 英人 長谷川 通 平山 洋志 堀内 精二  
 川浪 剛功 赤石 剛 丸海老 隆 増田 卓也 島村 寿子  
 島村 豊次 須崎 暁 安田 義宏 松山 昇榮

地区事務所 浅利 育子

# 三大研修でご協力いただいた 能登半島地震災害支援金について

令和6年1月1日に発災した能登半島地震への支援金を、三大研修の懇親会に能登半島、石川県の酒をご用意して、飲んだ方に支援金のご協力をいただく方法を取りました。支援金は全額D2610に送金しております。D2610大橋聡司ガバナーからは、感謝と協力依頼のビデオメッセージをいただきました。

地区内各クラブの皆様、ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

研 修 会 名	支援金額(円)
地区チーム研修セミナー(DTTS)	201,610
会長エレクト研修セミナー(PETS)	111,202
地区研修・協議会(DTA)	47,118





---

2024-25年度 国際ロータリー第2830地区

**研修記録誌**  
**(DTTS、PETS、DTA)**

発行日 令和8年1月30日

発行者 国際ロータリー第2830地区

2024-25年度 ガバナー 花田 勝彦

編集 五所川原ロータリークラブ

---

\*本文は音声を文章化したしております。不行き届きの点はお詫び申し上げます。





**Rotary**  
District 2830

